

Pioneer



MD/CD/チューナー・
FM文字多重内蔵・DSPメインユニット

FH-P88MD

取扱説明書

carrozeria

目次 4ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

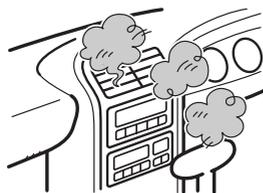
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

はじめに

1	各部のなまえ	8
2	本機の操作の基本	10
3	リモコンの準備	13
4	バッテリー上がりを防ぐために	13
5	「CD TEXT」について	13
6	FM多重について	13
7	フロントパネルの角度を調節する	14
8	デモモードについて	15
9	ミュート機能について	15
10	本機のリセットについて	15

ここだけで

ここだけ読めばすぐ使えます

1	聞きたいソース (音源) を選ぶ	16
2	CDのふだんの操作	18
	CDを再生する	
	曲を選ぶ	
	早送り/早戻しをする	
	音量を調節する	
	CDを取り出す	
3	MDのふだんの操作	20
	MDを再生する	
	曲を選ぶ	
	早送り/早戻しをする	
	音量を調節する	
	MDを取り出す	
4	ラジオのふだんの操作	22
	バンドを選ぶ	
	放送局を選ぶ	
	音量を調節する	
5	FM多重のふだんの操作	24
	FM多重を見る	
6	マルチCDのふだんの操作	26
	CDを選ぶ	
	曲を選ぶ	
	早送り/早戻しをする	
	音量を調節する	

CD/MD

内蔵CD/MDでCD/MDを聞く

1	モードの切り換えかた	28
2	MD、CD再生を一時停止する	29
3	聞きたい曲をさがす	30
4	同じ曲を繰り返し聞く	31
5	いつもと違う曲順で聞く	31
6	曲名を見て聞きたい曲をさがす	32
7	MD、CDの音質を調節する	33
8	MDのタイトルを表示させる	34
9	CDのタイトルを表示させる	35

ラジオ

ラジオを聞く

1	放送局を1局ずつ記憶させる	36
2	記憶させた放送局を呼び出す	37
3	表示を切り換える	37
4	モードの切り換えかた	38
5	複数の放送局を自動的に記憶させる	39
6	2つのアンテナでFM放送を受信する	39
7	放送局名を見て 聞きたい放送局を呼び出す	40
8	放送局名を変更する	41

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

FM 多重

FM 多重を見る

1	FM 多重を見る	42
2	あとで見直したい画面を 記憶させておく	45
3	記憶させた画面を見る	45
4	モードの切り換えかた	46
5	受信中のFM 多重局を記憶させる	47
6	複数のFM 多重局を 自動的に記憶させる	48
7	記憶させたFM 多重局を呼び出す	48
8	受信状態の良いFM 多重局を 自動的に受信させる	49
9	同じ系列 (番組内容) の FM 多重局を受信する	50
10	FM 放送の番組内容を FM 多重で見る	51

はじめに

内蔵CD/MDでCD/MDを聞く

ラジオを聞く

FM 多重を見る

マルチCDでCDを聞く

音を調節する

音場と音質を調節する

便利な機能と初期設定

その他 (付録)

マルチCD

マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- | | | |
|----|------------------------------|----|
| 1 | 50枚型マルチCDプレーヤーの
使用について | 52 |
| 2 | 聞きたいCDを直接選ぶ | 52 |
| 3 | モードの切り換えかた | 53 |
| 4 | 聞きたい曲やCDをさがす | 54 |
| 5 | いつもと違う曲順で聞く | 55 |
| 6 | 同じ曲やCDを繰り返し聞く | 56 |
| 7 | 聞きたい曲だけ記憶させておく | 57 |
| 8 | 記憶させた曲だけ再生する | 58 |
| 9 | 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す | 59 |
| 10 | 記憶させた曲をCDごとに記憶から消す | 59 |
| 11 | CDのタイトルを記憶させる | 60 |
| 12 | 「CD TEXT」のタイトルや
歌手名を表示させる | 62 |
| 13 | CDの音質を調整する | 64 |
| 14 | CD再生を一時停止する | 65 |
| 15 | タイトルを見て
聞きたいCDをさがす | 66 |
| 16 | 曲名を見て聞きたい曲をさがす | 67 |

音の調節

音を調節する

- | | | |
|---|-------------------|----|
| 1 | 瞬時に音量を小さくする | 68 |
| 2 | オーディオ調節モードの切り換えかた | 68 |
| 3 | 前後左右の音量バランスを調節する | 69 |
| 4 | 小音量時の音にメリハリをつける | 69 |
| 5 | 騒音に合わせて音量を変える | 70 |
| 6 | 各ソースの音量の違いをそろえる | 71 |

DSP調節

音場と音質を調節する

- | | | |
|----|----------------------------|----|
| 1 | DSP調節モードの切り換えかた | 72 |
| 2 | 音場の中心で聞く | 74 |
| 3 | オートイコライザーカーブを呼び出す | 75 |
| 4 | 音楽に合った音質を設定する | 76 |
| 5 | イコライザーカーブを
大まかに調整する | 77 |
| 6 | イコライザーカーブを
細かく調節する | 78 |
| 7 | イメージに合った演奏会場を
再現する | 80 |
| 8 | 低音を強調する | 81 |
| 9 | サブウーファーを使う | 82 |
| 10 | 低い音をスピーカーから
出力させないようにする | 84 |
| 11 | オートイコライジングを行う前に | 86 |
| 12 | オートイコライジングを行う | 88 |

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

便利な機能

便利な機能と初期設定

1	交通情報を受信する	90
2	ディスプレイの表示を切り換える	91
3	エンタテインメント表示を 切り換える	91
4	初期設定モードの切り換えかた	92
5	時計や日付を合わせる	93
6	RCA外部出力から 出力される信号を選ぶ	94
7	夜間のディスプレイの 明るさを切り換える	94
8	外部機器の音声を聞く	95
9	外部機器の名称を入力する	95
10	自動的に時刻を補正する	96
11	FM多重用オートアンテナを 設定する	96
12	音の歪みを補正する	97
13	背景のパターンを選ぶ	98
14	ディスプレイの明るさを調節する	98
15	携帯電話の ハンズフリー機能について	99
16	電話待ち受けについて	99

はじめに

内蔵CD/MDでCD/MDを聞く

ラジオを聞く

FM多重を見る

マルチCDでCDを聞く

音を調節する

音場と音質を調節する

便利な機能と初期設定

その他 (付録)

その他

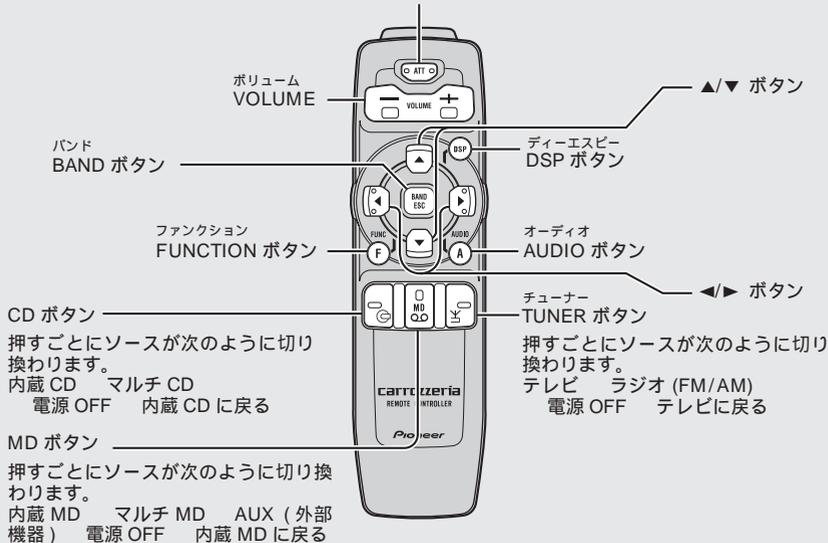
その他 (付録)

1	CDの正しい使いかた	100
2	MDの正しい使いかた	102
3	保証書とアフターサービス	103
4	故障かな?と思ったら	104
5	こんなメッセージが表示されたら	106
6	おもな仕様	108

リモコン

各ボタンは、本体の同じなまえのボタンと同じ動きをします。
ATT ボタンは、リモコンだけに付いているボタンです。

アッテネーター
ATT ボタン (E3 音の調節 ① 68 ページ)
押すごとにアッテネーターが ON/OFF します。
アッテネーターが ON のときは、音量が約 1/10 になります。



メモ

接続していないソースには切り換わりません。
CDやMDがセットされていないときは、その
ソースには切り換わりません。
AUX (外部機器) の設定 (E3 便利な機能⑧ 95
ページ) をONにしないと、AUXには切り換わ
りません。

本機の操作の基本

本機を操作するときに、よく使うボタンなどについての説明です。

ふだん使う機能の操作のしかた

ふだん使う機能は、▲/▼/◀/▶ボタンおよびBANDボタンで操作します。

聞いているソース 押すボタン	CD、MDを 聞いているとき	ラジオ、テレビを聞いているとき
◀または▶ボタン	選曲、早送り/早戻し	自動選局、手動選局
▲または▼ボタン	再生するディスクの切り換え (マルチCD、マルチMDを接続して いる場合のみ)	記憶させた放送局の切り換え
BANDボタン	—————	バンド (FM/AM) の切り換え

便利な機能の操作のしかた

ふだん使う機能以外は、オペレーションモードを切り換えて操作します。
オペレーションモードには6つのモードがあり、次の手順で操作します。

手 順	モード	ファンクション モード	詳細設定 モード	初期設定 モード	オーディオ 調節モード	DSP調節 モード1、2
1 それぞれの モードにする		FUNCTION ボタンを 押す。	FUNCTION ボタンを 2秒以上 押す。	電源OFFの ときに FUNCTION ボタンを2 秒以上押す。	AUDIO ボタンを 押す。	DSPボタンを 押す。 または2秒以上 押す。
2 機能を切り換える		FUNCTIONボタンを押す。			AUDIOボタン を押す。	DSPボタンを 押す。
3 機能をON/OFFする または 項目を選ぶ		▲または▼ボタンを押す。				▲/▼/◀/▶ ボタンを押す。 (選択または調節)
		◀または▶ボタンを押す。				
4 それぞれの モードを解除する		BANDボタンを押す。				

それぞれのモードで操作できる機能について

- ファンクションモード : CD/MDのリピート再生 (☞ CD/MD④ 31ページ) やマルチCDのスキャン再生 (☞ マルチCD④ 54ページ) など、それぞれのソースの便利な機能を実行できます。
- 詳細設定モード : CDのタイトル入力 (☞ マルチCD① 60ページ) やラジオの放送局名設定 (☞ ラジオ⑧ 41ページ) など、便利な機能の詳細を設定できます。
- 初期設定モード : 外部機器 (☞ 便利な機能⑥ 95ページ) やデイマー (☞ 便利な機能⑦ 94ページ) などの設定ができます。
- オーディオ調節モード : フェーダー/バランス (☞ 音の調節⑥ 69ページ) など、音に関する調節ができます。
- DSP調節モード1、2 : グラフィックイコライザー (☞ DSP調節④ 76ページ) などの音場と音質に関する調節ができます。

ガイド表示について

本機の操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作ができるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



モード設定中の表示例 内容

		ON/OFF を表します。
		入力中 を表します。
		記憶中 を表します。
		消去中/削除中 を表します。

表示の例 内容

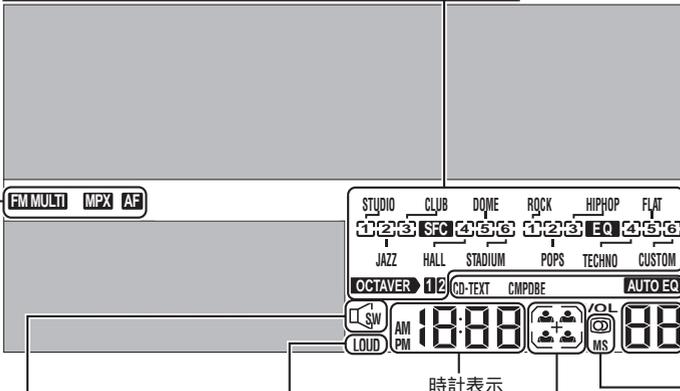
	▲/▼/◀/▶ボタンで操作 できます。
	▲または▼ボタンで機能の ON/OFFができます。
	◀または▶ボタンで項目を選 ぶことができます。

ディスプレイ表示について

FM 多重
FM MULTI 表示
FM 多重を受信しているときに表示されます。
MPX 表示 (※ここだけで ⑤ 24 ページ)
FM 多重操作モードのとき表示されます。
AF 表示 (※ FM 多重 ⑨ 50 ページ)
FM 多重の AF 機能が可能なときに表示されます。

サウンドフィールドコントロール
SFC モード表示 (※ DSP 調節 ⑦ 80 ページ)
SFC モードのとき、“STUDIO、JAZZ、CLUB、HALL、DOME、STADIUM”の中から選んだ音場プログラムが表示されます。1~6の番号は、1~6のボタンに対応しています。
グラフィックイコライザーモード表示
(※ DSP 調節 ④ 76 ページ)
グラフィックイコライザーモードのとき、“ROCK、POPS、HIPHOP、TECHNO、FLAT、CUSTOM”の中から選んだイコライザーカーブが表示されます。1~6の番号は、1~6のボタンに対応しています。
オクターバー
OCTAVER モード表示 (※ DSP 調節 ③ 81 ページ)
OCTAVER モードのとき、“OCTAVER1、2”の中から選んだ音場プログラムが表示されます。1、2の番号は、1および2のボタンに対応しています。

CD TEXT 表示
(※はじめに ⑤)
CD TEXT 再生中に表示されます。
コンプレッション / DBE 表示
(※ CD / MD ⑦ 33 ページ、
マルチ CD ⑬ 64 ページ)
COMP1 または COMP2 を選ぶと
“CMP” が表示されます。
DBE1 または DBE2 を選ぶと
“DBE” が表示されます。
オートイコライジング (AUTO EQ)
表示 (※ DSP 調節 ⑫ 86 ページ)
オートイコライザーが ON のときに
表示されます。



サブウーファー表示
(※ DSP 調節 ⑨ 82 ページ)
サブウーファーが ON のときに
表示されます。

ラウドネス表示
(※音の調節 ④ 69 ページ)
ラウドネスが ON のときに
表示されます。

ポジションマーク
(※ DSP 調節 ② 74 ページ)
リスニングポジションセクター
の設定状況が表示されます。

音量表示
現在の音量が
表示されます。

ステレオマーク
ステレオ放送を受信すると “O” が表示されます。
音声多重放送 (2カ国語放送) マーク (パイオニア製の 7 型ワイド AV システムテレビ
(「AVX-P7000W」など)と組み合わせたときの表示です。)
音声多重放送を受信すると “◎” が表示されます。受信している音声、主音声だけの
ときは “M” が、副音声だけのときは “S” が、主音声と副音声のときは “MS” が
表示されます。

はじめに

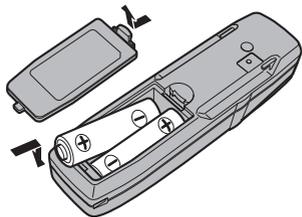
3

リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

リモコンに電池を入れる

裏ボタンを開けて、単4形乾電池(R03)2本をセットします。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

リモコンの取り扱い上のご注意

リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。

乾電池は、充電しないでください。

リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。

電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。

不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示(条例)に従って処理してください。

メモ

誤ってリモコンのBANDボタンを押しながらFUNCTIONボタンを押してしまうと、ATTボタン、DSPボタン、VOLUMEが動かなくなります。この場合、リモコンのBANDボタンを押しながらAUDIOボタンを押すと、元に戻ります。

はじめに

4

バッテリー上がりを防ぐために

バッテリー上がりを防ぐためのご注意

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のエンジンスイッチをON(またはACC)にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

はじめに

5

「CD TEXT」について

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。(下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。)



はじめに

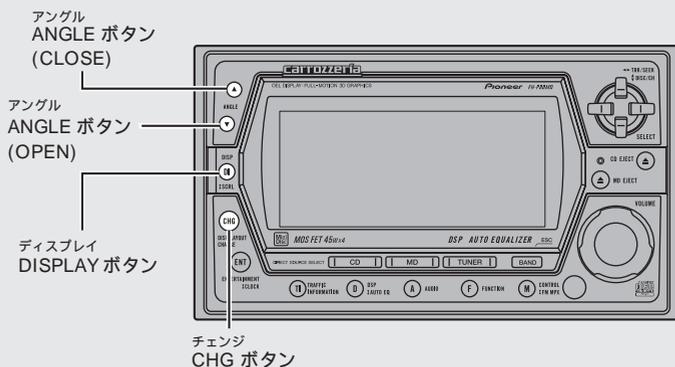
6

FM多重について

FM多重(FM文字多重放送)について

FM多重にはFM文字多重放送の他にもいくつかのサービスがあります。本機はFM文字多重放送に対応しており、その他のサービスには対応していません。FM文字多重放送以外のサービスを受信したときは、“データを受信できません”と表示されます。そのようなときは、他のFM多重局(☎FM多重①42ページ)を試みてください。

はじめに



はじめに 7 フロントパネルの角度を調節する

角度調節

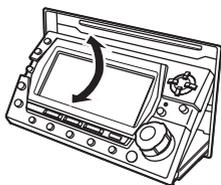
フロントパネルの角度を調節して、ディスプレイを見やすくしたり、操作をしやすくすることができます。

1 フロントパネルの角度を調節する

ANGLE (OPEN/CLOSE) ボタンを押す

OPEN : ボタンを押すごとにフロントパネルが傾きます。2秒以上押しと、全開します。

CLOSE : ボタンを押すごとにフロントパネルが立ち上がります。2秒以上押しと、完全に閉まります。



ご注意

角度の調節は、手動で行わないでください。フロントパネルに強い力が加わると、故障することがあります。

CDやMDを挿入口に差したままにしないでください。フロントパネルを閉められなくなります。

メモ

フロントパネルの角度は、12段階に調節することができます。

ANGLE ボタンを押してCD EJECT 位置またはMD EJECT 位置に調節すると、CD挿入口およびMD挿入口にライトがつけます。

車のACC (アクセサリ) 電源をOFFにすると、約6秒後にフロントパネルが閉じます。もう一度ONにすると、元の位置に戻ります。(ただし、安全のために、全開位置には戻りません。)

リモコンの取付位置によっては、フロントパネルの角度調節を行うとリモコンでの操作が効かなくなることがあります。このようなときは、リモコンを本機に近づけて操作してください。

⚠ 注意



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。

フロントパネルを全開にしたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。

はじめに

8

デモモードについて

本機には、リバースデモとフィーチャーデモの2つのデモモードがあります。

リバースデモについて

リバースデモは、各ソースを聞いているときに約30秒間操作しないと画面が自動的に反転する機能です。反転は、10秒間隔で行われます。

リバースデモを解除したいときは、車のイグニッションスイッチがON(またはACC)のときに本機の電源をOFFにしてCHGボタンを押してください。もう一度押すと、リバースデモがONになります。

フィーチャーデモについて

フィーチャーデモは、本機が電源OFFのときに、各ソースや本機の機能(エンタテインメント、DSP、SFCなど)の画面を表示して紹介する機能です。

フィーチャーデモを解除したいときは、フィーチャーデモが表示されているときにDISPLAYボタンを押してください。もう一度押すと、デモが始まります。

車のエンジンを止めた状態で、フィーチャーデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

メモ

赤リード線(アクセサリ電源)は、常に車のバッテリーから電源が供給される電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源をOFFにしても、フィーチャーデモが表示され、バッテリー上がりの原因になります。

はじめに

9

ミュート機能について

ミュート

ミュート機能のある製品(パイオニア製ナビゲーションシステム「AVIC-D9100」など)と本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っているときだけ、ミュート機能が働きます。ミュート機能が働いているときの音量は“0”になります。

ミュート機能が解除されると、自動的に、もとの音量に戻ります。

はじめに

10

本機のリセットについて

リセット

本機を初期設定状態に戻すことができます。

リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期設定状態(ご購入直後の状態)に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

接続が終わった後。

本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

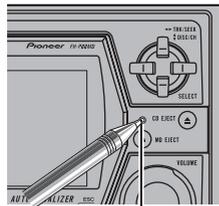
リセットボタンを押すと、本機の記憶(時計やラジオのプリセットなど)が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

ご注意

本機をリセットする前に、フロントパネルを完全に閉めておいてください。(CDやMDを挿入口に差したままにしないでください。)

1 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



リセットボタン

メモ

フロントパネルを開けたままリセットすると、自動的にフロントパネルが閉じます。

はじめに

聞きたいソース (音源) に切り換えることができます。

1 ソースを切り換える

CD ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

内蔵CD

マルチCD (別売)

電話待ち受け ¹

電源OFF

内蔵CDに戻る

TUNER ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

テレビ (別売)

ラジオ (FM/AM)

電話待ち受け ¹

電源OFF

テレビ (別売)に戻る

MD ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

内蔵MD

マルチMD (別売)

External1
(エクスターナルユニット) (別売) ²

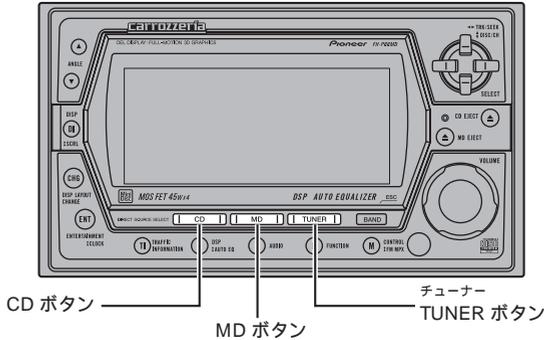
External2
(エクスターナルユニット) (別売) ²

AUX (外部機器) (別売) ³

電話待ち受け ¹

電源OFF

内蔵MDに戻る



メモ

接続していないソースには切り換わりません。CDやMDがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。

本機の青リード線（オートアンテナ）に車側のオートアンテナのコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。また、FM多重用オートアンテナの設定（**便利な機能** ① 96ページ）をONにした場合は、電源をONにするとオートアンテナがのびます。

¹ 電話待ち受けの設定（**便利な機能** ⑩ 99ページ）をONにしないと、電話待ち受けには切り換わりません。

² External (エクスターナルユニット) とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品（将来発売される製品など）の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のExternal (エクスターナルユニット) をコントロールすることができますが、External1、External2のどちらに切り換えても“External”が表示されます。2台のExternal (エクスターナルユニット) を接続した場合、本機によって、External1、External2が自動的に設定されます。

³ AUX (外部機器) の設定（**便利な機能** ⑥ 95ページ）をONにしないと、AUXには切り換わりません。

テレビ、マルチMDを接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

組み合わせ例

ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P7700W」
マルチMD	「MD-P100II」

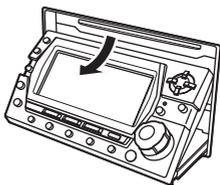
上記の製品の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作説明が行われている場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

また、本機はマルチMDでCOMP機能を使うことができます。COMP機能については、内蔵CD/MDを参照してください。（**CD/MD** ⑦ 33ページ）

ここだけの操作で、内蔵のCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 CDを再生する

CD EJECT ボタンを押して、フロントパネルを開ける



タイトル面を上にして、CD 挿入口に差し込む



自動的にフロントパネルが閉まり、CDの再生が始まります。

ご注意

CD シングル (8cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。

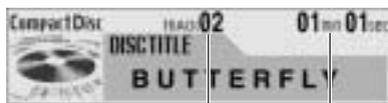
「CD TEXT」を再生する場合は、CDをセットしたときや、他のソースから内蔵CDに切り換えたときなどに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に1回スクロール表示します。



2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号 再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

「CD TEXT」を再生している場合は、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

 **注意**



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。

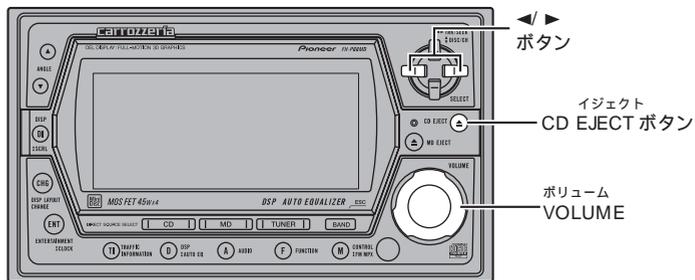
早送り/早戻しをする

音量を調節する

CD を取り出す

トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

VOLUME を回す

右に回す：大きくするとき

左に回す：小さくするとき



音量は0～40の範囲で調節できます。

約4秒間、ディスプレイに音量が表示されます。

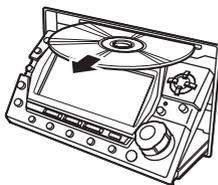
メモ

CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース（ラジオやMDなど）に切り換えることもできます。（ ここだけで① 16ページ）
タイトル（ CD/MD② 35ページ）が入力されていないCDを再生すると、“No Title”が表示されます。

4 CDを取り出してCD再生をやめる

CD EJECT ボタンを押す

フロントパネルが開き、CDが出てきて、電源がOFFになります。



出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

もう一度CD EJECTボタンを押して、フロントパネルを閉める
フロントパネルが閉まります。

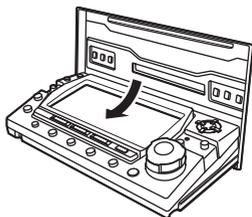
3 MD のふだんの操作

MD を再生する 曲を選ぶ

ここだけの操作で、内蔵の MD プレーヤーで MD を聞くことができます。

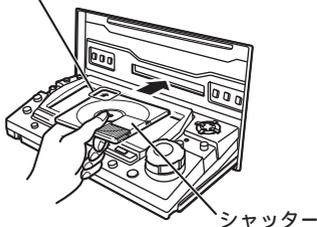
1 MD を再生する

MD EJECT ボタンを押して、フロントパネルを開ける



ラベル面を上にして、MD 挿入口に差し込む

矢印の向きに差し込みます。



確認

MD のシャッターが開まっていることを確認してから差し込んでください。

自動的にフロントパネルが閉まり、MD の再生が始まります。

MD をセットしたときや、他のソースから内蔵 MD に切り換えたときなどに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に 1 回スクロール表示します。

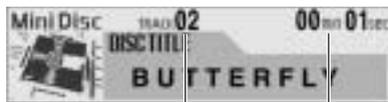


2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)

◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号 再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5 秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5 秒以上押し 続けている間

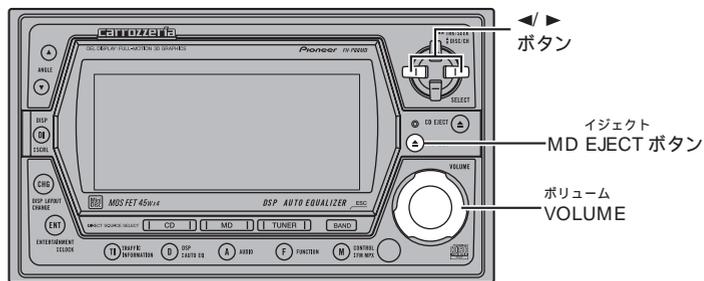
曲を選んだときに、曲名を自動的に 1 回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

⚠ 注意



注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。フロントパネルを全開にしたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。



3 音量を調節する

VOLUME を回す

右に回す：大きくするとき

左に回す：小さくするとき



音量は0～40の範囲で調節できます。

約4秒間、ディスプレイに音量が表示されます。

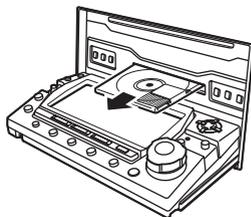
メモ

MDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース(ラジオやCDなど)に切り換えることもできます。(P.16) ここだけで 16 ページ
タイトルが収録されていないMDを再生すると、“No Title”が表示されます。

4 MDを取り出してMD再生をやめる

MD EJECT ボタンを押す

フロントパネルが開き、MDが出てきて、電源がOFFになります。



出てきたMDはすぐに取り出して、保管してください。

もう一度MD EJECT ボタンを押して、フロントパネルを閉める
フロントパネルが閉まります。

ここだけで **4** ラジオのふだんの操作

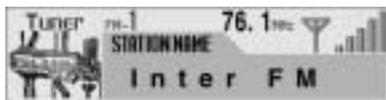
バンドを選ぶ 放送局を選ぶ

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 ソースを
ラジオにする

TUNER ボタンを押して選ぶ

ラジオを受信します。

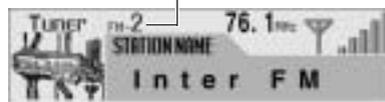


2 バンドを
選ぶ

BAND ボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

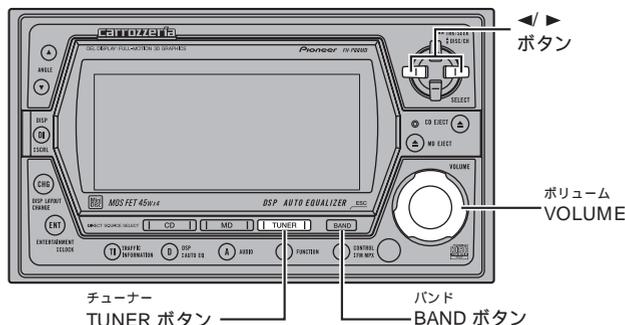
FM-1 FM-2 AM-1 AM-2



バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。(ラジオ 36、39ページ)

バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのまま使いになれます。

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 放送局を 選局する

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀ : 低い周波数の放送局を選局するとき



受信周波数 放送局名 受信状況

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離れたところから自動選局を開始します。

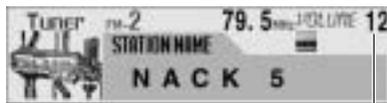
電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

本機はあらかじめ放送局名を記憶しています。ディスプレイに表示されている放送局名と受信している放送局名が異なるときは、受信している放送局名に変更することができます。(※ ラジオ 41ページ)

4 音量を 調節する

VOLUMEを回す

- 右に回す : 大きくするとき
- 左に回す : 小さくするとき



音量は0～40の範囲で調節できます。約4秒間、ディスプレイに音量が表示されます。

5 ラジオの 受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (※ ここだけで① 16ページ)

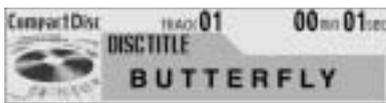
ここだけで FM 多重のふだんの操作

FM 多重を見る

本機では、CDやMDなど他のソース（ラジオのAM放送と交通情報を除く）を聞きながらFM多重を見ることができます。

1 聞きたいソースにする

CDボタン、MDボタンまたはTUNERボタンを押して選ぶ



AM放送と交通情報以外のソースを選んでください。



警告



禁止

走行中は、運転者はFM多重を見たり、操作したりしないでください。前方不注意による事故の原因になります。

メモ

電波の受信状態やデータ量によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

受信電波が弱い場合は、“データが受信できません”とメッセージが表示されたり、ページが正しく表示されないことがあります。受信状態の良い場所に移動するか、他のFM多重局を選局してみてください。

FM多重操作モードのときは、他のソースの操作はできません。

電話待ち受けのときは、FM多重操作モードに切り換わりません。

2 FM 多重操作モードにする

Mボタンを押す

データ読込中です

見たいFM多重局をすでに選局しているとき

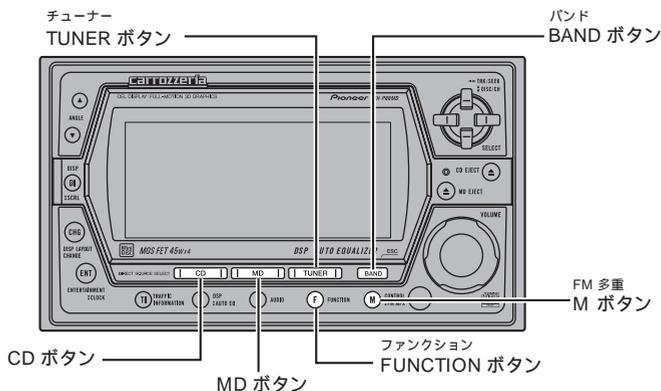
(前回聞いたラジオ放送局がFM多重局のときなど。)



目次（一番最初のページ）が表示されます。

FM多重局を選局していないとき（FM多重の文字情報を受信できないとき）

FUNCTIONボタンを押してFM多重局選択モードにして、見たいFM多重局を選んでください。(FM多重① 42ページ)



3 FM 多重の番組を見る

(FM 多重① 42 ページ)



4 FM 多重操作モードを解除する

M ボタンまたはBAND ボタンを押す



今聞いているソースの表示に戻ります。

緊急放送について

大きな地震、台風、火災など、天災が発生したとき、特別な識別コードを持った緊急情報が放送されることがあります。

FM 多重局を受信しているとき、緊急放送を受信すると自動的にFM 多重操作モードになり、緊急情報が表示されます。

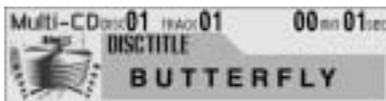
また、緊急放送中はハンズフリー機能は使用できません。

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。

1 ソースを マルチCDにする

CDボタンを押して選ぶ

マルチCDの再生が始まります。



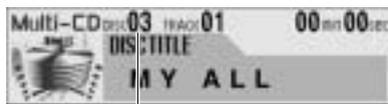
「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P650」など）に「CD TEXT」をセットしたときは、他のソースからマルチCDに切り換えたときやCDを選んだときに、ディスクタイトルおよび曲名を自動的に1回スクロール表示します。

2 聞きたいCDを 選ぶ

▲または▼ボタンを押す

▲：次のCDを選ぶとき

▼：前のCDを選ぶとき



CD番号

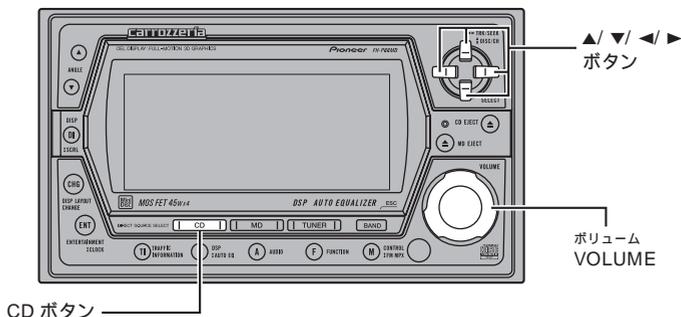
メモ

タイトル (E37 マルチCD① 60 ページ) が入力されていないCDを再生すると、“No Title”が表示されます。

マルチCDが準備動作 (CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど) をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“Ready”が表示されます。

マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“No Mag.”が表示されます。

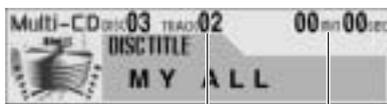
ここだけ読めば
すぐ使えます



3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



曲番号 再生経過時間

選曲と早送り/早戻しの使い分け

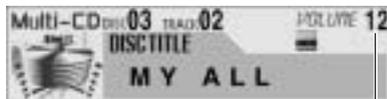
聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー(「CDX-P650」など)に「CD TEXT」をセットしたときは、曲を選んだときに、曲名を自動的に1回スクロール表示します。ただし、今聞いている曲の頭出しをしたときには、表示しません。

4 音量を調節する

VOLUMEを回す

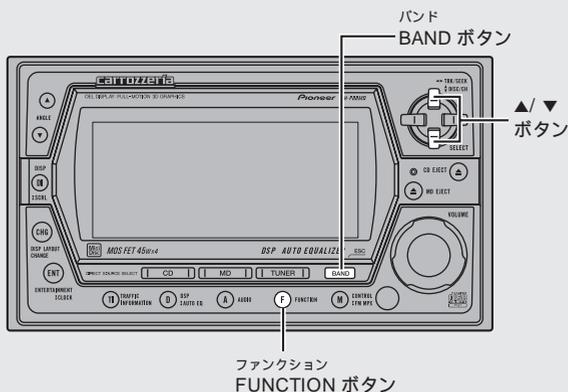
- 右に回す : 大きくするとき
- 左に回す : 小さくするとき



音量は0～40の範囲で調節できます。約4秒間、ディスプレイに音量が表示されます。

5 マルチCD再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする (E25 ここだけで① 16ページ)



CD/MD
1

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートプレイ設定モード

(CD/MD **4** 31 ページ)

トラックリストモード ¹

(CD/MD **6** 32 ページ)

ランダムプレイ設定モード

(CD/MD **5** 31 ページ)

スキャンプレイ設定モード

(CD/MD **3** 30 ページ)

ポーズ設定モード

(CD/MD **2**)

コンプレッション設定モード

(CD/MD **7** 33 ページ)

リピートプレイ設定モードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

¹ ソースが内蔵CDのときは、トラックリストモードには切り換わりません。(ただし、「CD TEXT」(はじめに **5** 13 ページ)を再生しているときは、切り換えることができます。)

MD、CD再生を
一時停止する

ポーズ

MDやCDの再生を一時停止することができます。

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

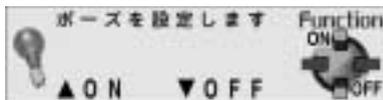
FUNCTION ボタンを2秒以上押す
ディスクタイトル入力モードになります。
( CD/MD 35 ページ)

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを
押します。
ソースが内蔵MDのときは、詳細設定モードに切
り換わりません。
「CD TEXT」を再生しているときは、詳細設定
モードに切り換わりません。「CD TEXT」にあら
かじめ収録されているタイトルは変更できません。)

1 ポーズ設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
( CD/MD 1)

2 MDやCDの再生を
一時停止する

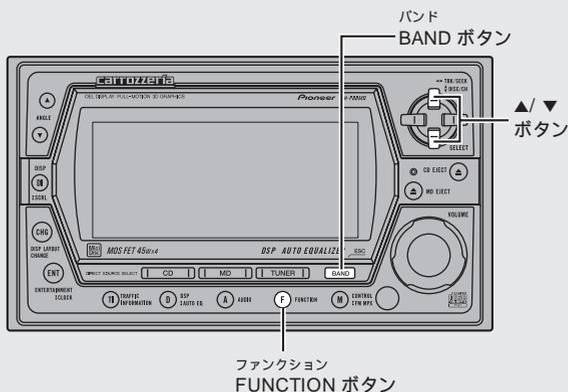
▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



BAND ボタンを押して、ファンクションモード
を解除してください。



一時停止中に表示されます。



CD/MD
3

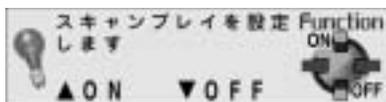
聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

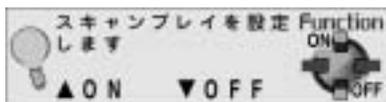
1 スキャンプレイ設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(CD/MD 28 ページ)



2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



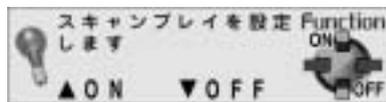
スキャン再生中に表示されます。

3 聞きたい曲が再生されたらスキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンプレイ設定モードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンプレイ設定モードのときに
▼ ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

CD/MD

4

同じ曲を繰り返し 聞く

トラックリピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

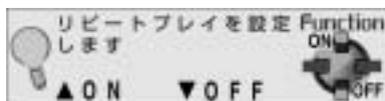
1 リピートプレイ設定モード にする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
( CD/MD 28 ページ)



2 トラックリピート再生を ONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモード
を解除してください。



リピート再生中に表示されます。

CD/MD

5

いつもと違う曲順で 聞く

ランダム再生

選曲を内蔵 MD/CD にまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 ランダムプレイ設定モード にする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
( CD/MD 28 ページ)



2 ランダム再生を ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)

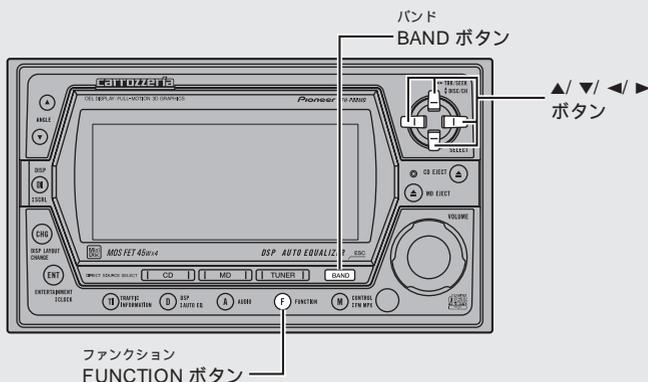


次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモード
を解除してください。



ランダム再生中に表示されます。



CD/MD
6

曲名を見て聞きたい曲をさがす

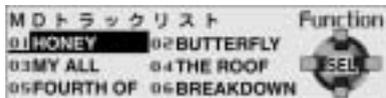
トラックリスト

曲名の一覧(トラックリスト)を見ながら、聞きたい曲を選ぶことができます。

チェック 内蔵MDのとき、または内蔵CDで「CD TEXT」を再生しているときの機能です。

1 トラックリストモードにする

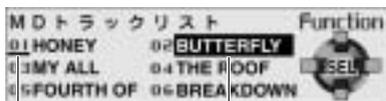
FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ CD/MD 28 ページ)



2 聞きたい曲を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲のタイトルを選ぶとき
- ◀ : 前の曲のタイトルを選ぶとき



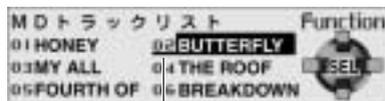
いま聞いている曲の番号の下に、“_”が表示されます。

選んだ曲のタイトルが反転表示されます。

7曲目以降の曲を選ぶときは、◀または▶ ボタンを押してディスプレイをスクロールさせることで、次の6曲(7~12曲目)を表示させることができます。

3 選んだ曲を再生する

▲ ボタンを押す



選んだ曲の番号の下に“_”が移動して、その曲が再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

タイトルの前の番号は、1~6ボタンに対応しています。1~6ボタンを直接押して、聞きたい曲を選ぶこともできます。(7~12曲目が表示されているときも、1~6ボタンに対応しています。) 曲名が収録されていないときは、“No Title”が表示されます。

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

コンプレッションについて

コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBE について

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミック バス エンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 コンプレッション設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

( CD/MD ① 28 ページ)



現在のコンプレッション / DBE の状態が表示されます。

2 機能を選ぶ

▲ または ▼ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

COMP OFF

COMP 1 (コンプレッション 1)

COMP 2 (コンプレッション 2)

COMP OFF

DBE 1

DBE 2

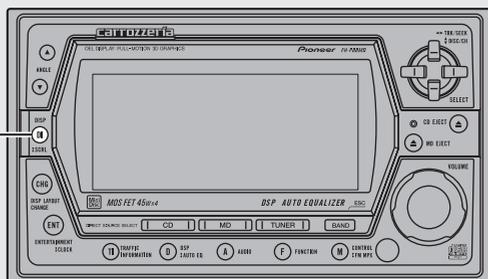
COMP OFF に戻る

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

コンプレッション、DBE とともに 1 より 2 の方が効果が大きくなります。

ディスプレイ
DISPLAY ボタン



CD/MD
8

MDのタイトルを表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

DISC TITLE (ディスク名) や TRACK TITLE (曲名) を表示させることができます。一度に半角で20文字、全角で10文字まで表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

チェック 内蔵MDの機能です。

タイトル表示について

本機はカナやアルファベットなどの半角文字だけでなく、ひらがなや漢字などの全角文字にも対応しています。MDに漢字などの全角文字の情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

表示を DISC TITLE (ディスク名) および TRACK TITLE (曲名) に切り換えたときに、自動的に1回スクロール表示します。

表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

DISC TITLE (ディスク名)

TRACK TITLE (曲名)

DISC TITLE (ディスク名) に戻る



再生中のMDに収録されているタイトルが表示されます。

メモ

DISC TITLE (ディスク名) や TRACK TITLE (曲名) が入力されていない場合は、ディスク名表示・曲名表示ともに " No Title " が表示されます。

隠れているタイトルを表示する

1 隠れているタイトルを表示する

DISPLAY ボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されます。

CDのタイトルを
表示させる

ディスクタイトル表示

CDのタイトルを表示させるために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

チェック 内蔵CDの機能です。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。タイトルを入力しておく、CD再生時に入力したタイトルが表示されます。

タイトルの記憶のしかたは、マルチCDと同じです。(☞ マルチCD① 60ページ)

タイトルは10文字まで入力できます。

内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。

48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルを記憶させたCDをマルチCDにセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

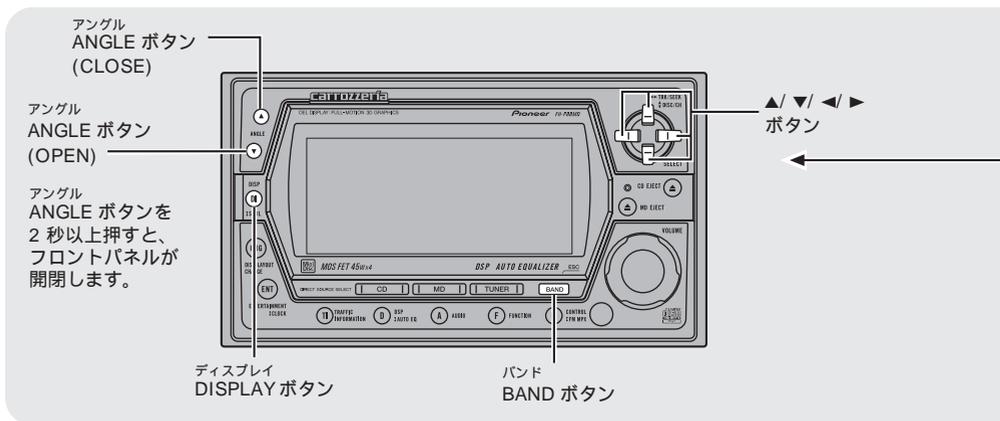
マルチCDを組み合わせると、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。

「CD TEXT」を再生したときのタイトルの表示のしかたは、マルチCDと同じです。

(☞ マルチCD② 62ページ)

メモ

タイトルが入力されていないCDを挿入すると、「No Title」が表示されます。



ラジオ 1 放送局を1局ずつ記憶させる プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

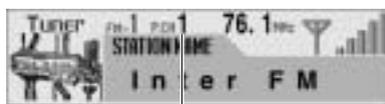
BAND ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 22ページ)

2 記憶させたい放送局を選局する

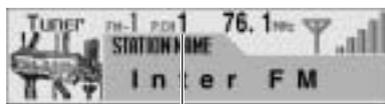
◀または▶ ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 23ページ)

3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す

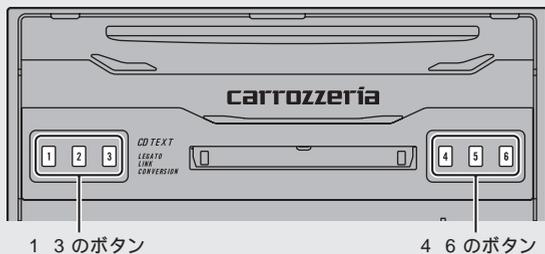


押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。

メモ
記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ②)



1 3 のボタン

4 6 のボタン

1 6 のボタンを押すときは、
フロントパネルを開きます。

ラジオ
2

記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

1 記憶させたバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(ここだけで④ 22 ページ)

2 記憶させた放送局を呼び出す

記憶させた放送局を直接呼び出す

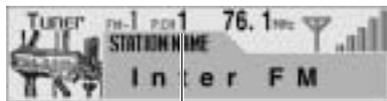
1 ~ 6 のボタンの1 つを押す

記憶させた放送局を順番に呼び出す

▲または▼ボタンを押す

▲ : 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼ : 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号

ラジオ
3

表示を切り換える

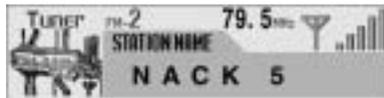
表示切り換え

FM 多重局 (はじめに⑥ 13 ページ) を受信しているときは、FM 多重局名を表示することができます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

例) 放送局名表示



表示は次のように切り換わります。

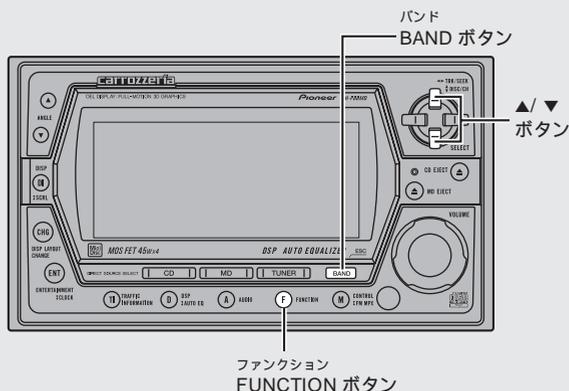
放送局名表示

FM 多重局名表示 ¹

放送局名表示に戻る

メモ

¹ FM 多重局名表示は、受信している放送局によっては、何も表示されない場合があります。



ラジオ 4 モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードにする

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

BSM 設定モード
(ラジオ 5)

ステーションリストモード
(ラジオ 7 40 ページ)

BSM 設定モードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。
(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを 2 秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

放送局名設定モード
(ラジオ 8 41 ページ)

ダイバーシティ設定モード
(ラジオ 6)

放送局名選択モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

複数の放送局を
自動的に記憶させる

BSM

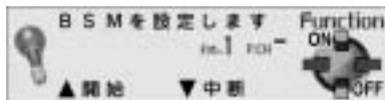
受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 記憶させるバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 22 ページ)

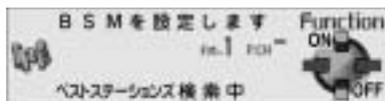
2 BSM 設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ ラジオ①)



3 BSM を始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)



記憶動作中に表示されます。



記憶が終わると、1のボタンに記憶した放送局を受信します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。

BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー)の略です。

記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ② 37 ページ)

2つのアンテナで
FM放送を受信する

FMダイバーシティ

FMダイバーシティをお使いのときは、ダイバーシティの設定をONにします。

FMダイバーシティについて

FMダイバーシティは、FM放送を2つのアンテナで受信するものです。ダイバーシティをONにすると、メイン用アンテナの受信感度が悪いときは、自動的にサブ用アンテナに切り換えて受信します。

FM放送を1つのアンテナで受信するときは、ダイバーシティをOFFにしてください。ONにすると、感度が悪くなったり、雑音が増加したりすることがあります。

1 ダイバーシティ設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ ラジオ④)

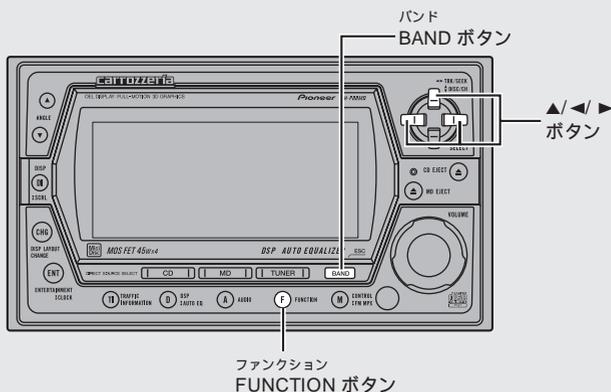


2 ダイバーシティの設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



ラジオ
7

放送局名を見て聞きたい放送局を呼び出す

ステーションリスト

1～6のボタンに記憶させた放送局を、放送局名の一覧表(ステーションリスト)の中から選ぶことができます。

1 ステーションリストモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ ラジオ④ 38ページ)



2 聞きたい放送局を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押して選ぶ

- ◀ : 次の放送局を選ぶとき
- ▶ : 前の放送局を選ぶとき



いま受信中の放送局の番号の下に、“_”が表示されます。

選んだ放送局名が反転表示されます。

3 選んだ放送局を呼び出す

▲ ボタンを押す



選んだ放送局の番号の下に“_”が移動し、その放送局を受信します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

記憶させた放送局名と、表示される放送局名が異なる場合は、放送局名を変更することができます。(☞ ラジオ⑧)
放送局名設定(☞ ラジオ⑥)で、放送局名を空白にしたときは、周波数が表示されます。
放送局名の前の番号は、1～6ボタンに対応しています。1～6ボタンのいずれかを押して、聞きたい放送局を直接選ぶこともできます。

ディスプレイに表示されている放送局名が、受信している放送局名と異なるときは、放送局名を変更することができます。

放送局名表示について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は違うことがあります。(例:FM 80.0MHzを使用している放送局は“TOKYO FM”“FM青森”“FM福岡”など複数あります。)

本機には、あらかじめ放送局名が記憶されています。ディスプレイに表示されている放送局名が受信している放送局名と異なるような場合は、放送局名を変更して表示することができます。

(例:福岡でFM80.0MHzに周波数をあわせた場合、“FM福岡”を受信しますが、本機の初期設定のままお使いになると、表示は“TOKYO FM”となります。このようなときは以下の手順で放送局名を変更することができます。)

1 放送局名を変更するバンドを選ぶ

BAND ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 22 ページ)

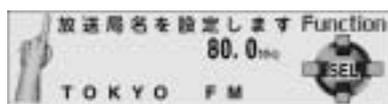
2 放送局名を変更したい放送局を選局する

◀または▶ ボタンを押す
(☞ ここだけで④ 23 ページ)

3 放送局名設定モードにする

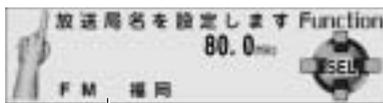
FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ ラジオ④ 38 ページ)



4 放送局名を選ぶ

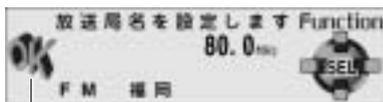
- ◀または▶ ボタンを押す
- ▶ : 次の放送局名を選ぶとき
- ◀ : 前の放送局名を選ぶとき



受信中の周波数に該当する放送局名を表示します。

5 放送局名を変更する

- ▲ ボタンを押す



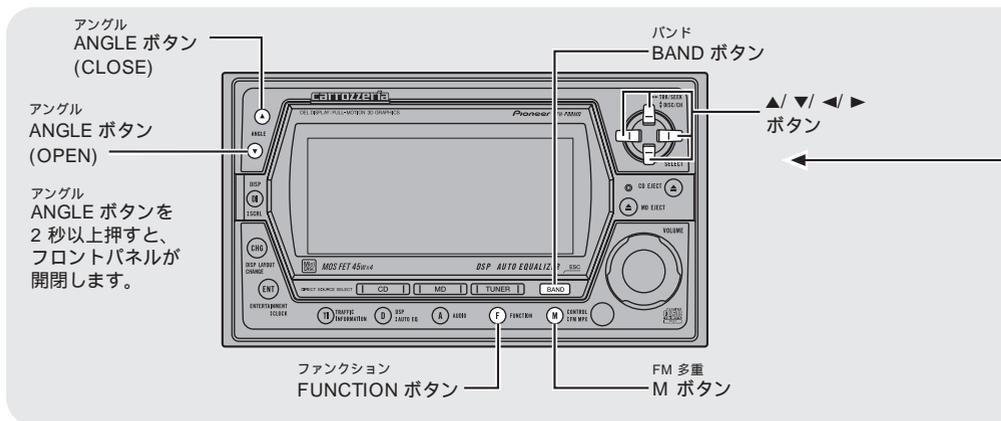
“OK”と表示され、変更したことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

選んだ周波数に該当する放送局名が記憶されていないと、“No Data”と表示されます。放送局名を表示させたくないときは、空白を選んでください。

パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCD(「CDX-FM653」など)をお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせると、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示することができます。パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数にあわせると、放送局名を“FM TV-Sound”に変更して表示することができます。



FM 多重 1 FM 多重を見る

本機では、CDやMDなど他のソース（ラジオのAM放送および交通情報を除く）を聞きながら、FM多重を見ることができます。

ご注意

AM放送または交通情報を聞いているときは、FM多重操作モードに切り換わりません。

1 FM 多重操作モードにする

M ボタンを押す

(※ ここだけで⑤ 24ページ)

データ読込中です

FM多重局を選局していなくても（データの受信ができなくても）表示されます。

見たいFM多重局をすでに選局している場合は、次の手順2と手順3の操作は必要ありません。手順4へ進んでください。

2 FM 多重局選択モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(※ FM 多重④ 46ページ)



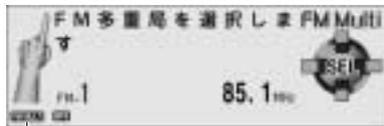
3 FM 多重局を選局する

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数のFM多重局を選局するとき

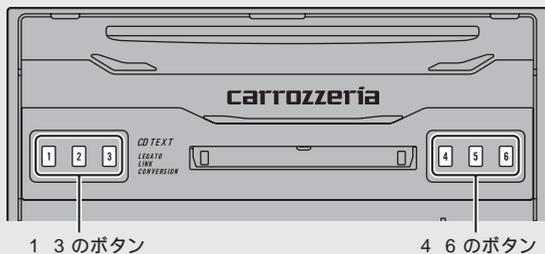
◀ : 低い周波数のFM多重局を選局するとき

自動選局します。



FM多重局を受信すると表示されます。

BAND ボタンを押して、FM多重選局モードを解除してください。



1 6のボタンを押すときは、
フロントパネルを開きます。

FM 多重局選局 / 番組選択 / ページ表示



データ受信中に表示されます。



目次 (一番最初のページ) が表示されます。

メモ

電波の受信状態やデータ量によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。受信電波が弱い場合は、“データが受信できません”とメッセージが表示されたり、ページが正しく表示されないことがあります。受信状態の良い場所に移動するか、他のFM多重局を選局してみてください。

4 見たい番組を選ぶ

直接選ぶとき

1 ~ 6 のボタンの1つを押す

順番に選ぶとき

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次の番組を選ぶとき

◀ : 前の番組を選ぶとき

最初もしくは最後の番組を選ぶとき

◀または▶ ボタンを2秒以上押す

▶ : 最後の番組を選ぶとき

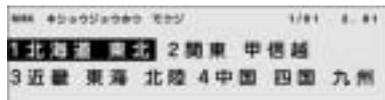
◀ : 最初の番組を選ぶとき



選んだ番組が反転表示されます。

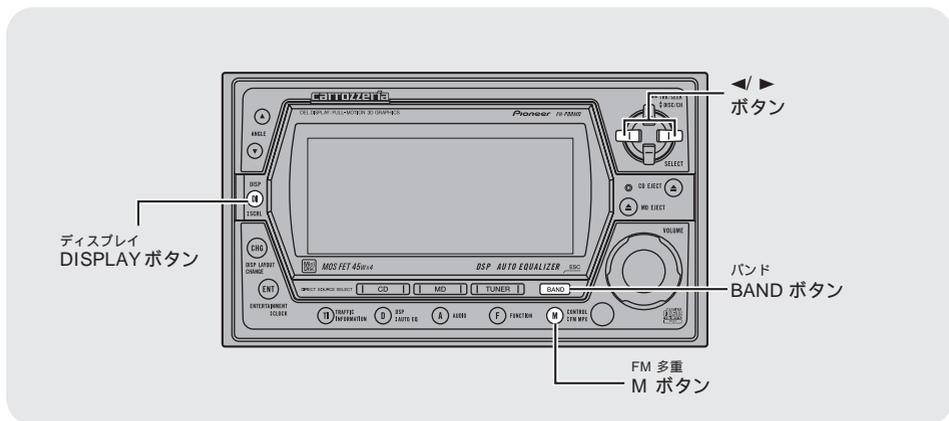
5 選んだ番組の内容を見る

▼ ボタンを押す (▲ ボタンで戻る)



選択項目が表示されます。

番組によっては、選択項目がなく、すぐに情報が表示されることもあります。この場合は次の手順6の操作は必要ありません。



FM 多重 1 FM 多重を見る (つづき)

FM 多重局選局 / 番組選択 / ページ表示 (つづき)

6 手順4、5を繰り返して、見たい情報を表示させる

情報は、複数のページで構成されています。(1ページだけの場合もあります。)

7 選んだ情報の他のページを表示させる

順番に選ぶとき

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次のページを選ぶとき
- ◀ : 前のページを選ぶとき

最初もしくは最後のページを選ぶとき

◀または▶ ボタンを2秒以上押す

- ▶ : 最後のページを選ぶとき
- ◀ : 最初のページを選ぶとき

8 FM 多重操作モードを解除する

M ボタンまたはBAND ボタンを押す
今聞いているソースの表示に戻ります。

メモ

受信したページは、本機のメモリーに一時的に記憶されます。通常のページめくりは、このメモリー上で検索されます。

▲ ボタンを2秒以上押すと、目次(一番最初のページ)に戻ります。

番組の選択操作は受信したデータに準拠しているため、放送局によっては、「▲ ボタンで戻れない」など、操作が制限される場合があります。

情報が複数のページで構成されている場合、ページの途中から表示されたり、前後のページがメモリーされていない場合があります。このような場合は、しばらく待ってから◀または▶ ボタンを押してページを切り換えてください。

FM 多重局が、表示中のページ(番組内容)を新しい内容に変更(更新)すると、“番組内容が更新されました”と約2秒間表示され、目次(一番最初のページ)に戻ります。

受信後すぐは、ページが表示されるまでに多少時間がかかりますが、メモリーに記憶されればページめくりがスムーズに行えるようになります。

受信状態が良いときは、新しいページデータがくると、メモリー上のページも自動的に更新されず。

FM 多重局を選局しなおすと、前のFM 多重局のメモリー内容はクリアーされます。

電話待ち受けのときは、FM 多重操作モードに切り換わりません。

FM多重

2

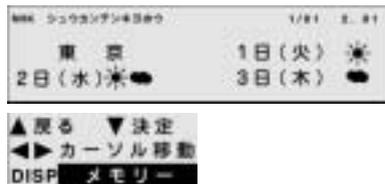
あとで見直したい画面を記憶させておく

画面記憶

あとでゆっくり見直したい画面を6個まで記憶させておくことができます。

1 画面を一時的に記憶させておく

記憶させたい画面が表示されたら、DISPLAYボタンを2秒以上押す



“メモリー”が反転表示され、今表示されている画面が記憶されます。

メモ

6個を超えたときは、一番古い画面が消されて、新しい画面が記憶されます。

記憶させた画面を見るには (FM多重③)

FM多重

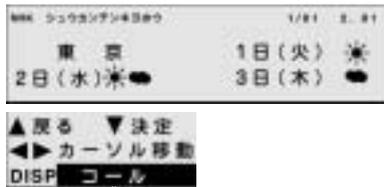
3

記憶させた画面を見る

あらかじめ記憶させておいた画面 (FM多重②) を見なおすことができます。

1 記憶した画面を見る

DISPLAYボタンを押して選ぶ
押すごとに記憶させた画面が切り換わります。

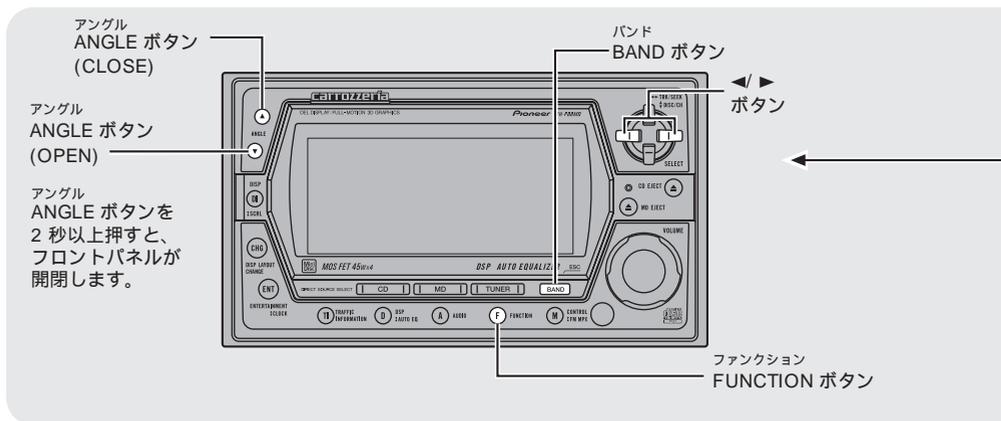


記憶させた画面を表示しているとき反転表示されません。

メモ

約8秒間何も操作をしなかったときは、自動的に表示が解除されます。

画面が1個も記憶されていないときは、“メモリーされていません”と約2秒間表示されます。



FM多重 4 モードの切り換えかた

便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押すボタンを押すごとに次のように切り換わります。

FM 多重局選択モード
(FM 多重⑤)

FM 多重局 BSM 設定モード
(FM 多重⑥ 48 ページ)

FM 多重局選択モードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押すボタンを押すごとに次のように切り換わります。

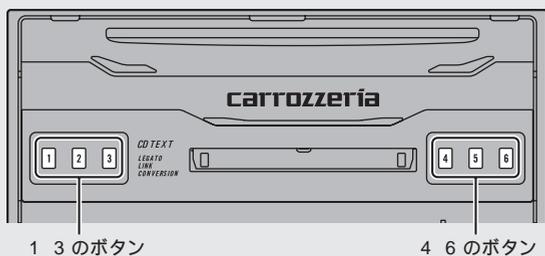
FM 多重局オートサーチ設定モード
(FM 多重⑧ 49 ページ)

AF サーチ設定モード
(FM 多重⑨ 50 ページ)

FM 多重局オートサーチ設定モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。



1 3 のボタン

4 6 のボタン

1 6 のボタンを押すときは、
フロントパネルを開きます。

FM 多重

5

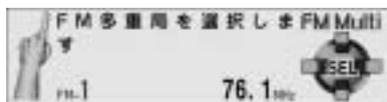
受信中のFM 多重局を記憶させる

FM 多重局プリセットメモリー

1 ~ 6 のボタンに、お好みのFM 多重局を、1 局ずつ手で記憶させることができます。

1 FM 多重局選択モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(FM 多重④)



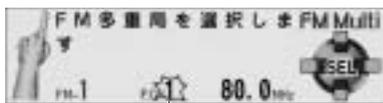
2 記憶させたいFM 多重局を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 高い周波数のFM 多重局を選ぶとき
- ◀ : 低い周波数のFM 多重局を選ぶとき

3 記憶させる

1 ~ 6 ボタンの1 つを2 秒以上押す



押したボタンの番号 (記憶番号) が点滅します。



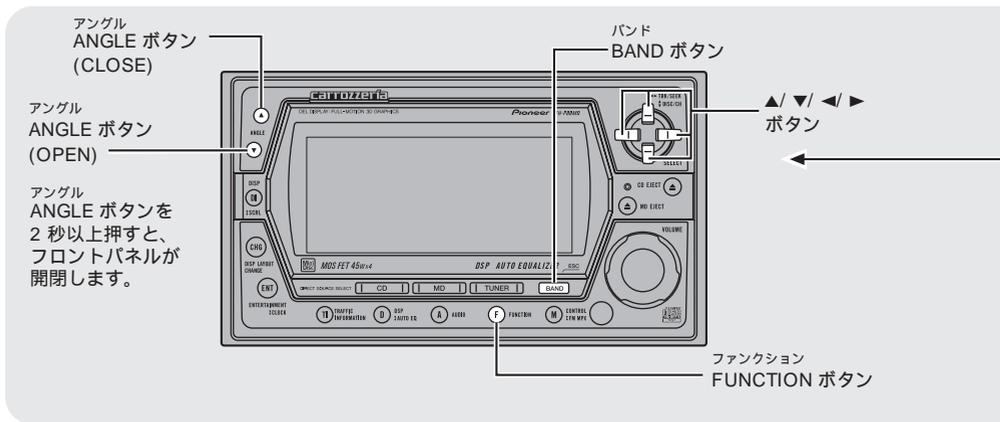
記憶が終わると点滅が終わり、受信中のFM 多重局が記憶されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

記憶させたFM 多重局を呼び出すには (FM 多重⑦ 48 ページ)

受信状態の良いFM 多重局を、1 ~ 6 のボタンに、一度に記憶させることもできます。 (FM 多重⑥ 48 ページ)



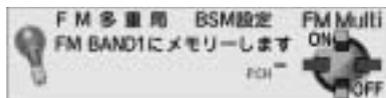
6 FM多重 複数のFM多重局を自動的に記憶させる

FM多重局BSM

受信状態の良いFM多重局をさがして、自動的に1～6のボタンに記憶させることができます。

1 FM多重局BSM設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ FM多重④ 46ページ)



2 BSMを始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)



記憶動作中に表示されます。

記憶が終わると、1のボタンに記憶したFM多重局を受信します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

受信状態の良いFM多重局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー) の略です。記憶させたFM多重局を呼び出すには (☞ FM多重⑦)

7 FM多重 記憶させたFM多重局を呼び出す

FM多重局プリセットチューニング

記憶させたFM多重局は、簡単に呼び出して、受信することができます。

1 FM多重局選択モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ FM多重④ 46ページ)



2 記憶させたFM多重局を呼び出す

直接呼び出す

1～6のボタンの1つを押す

順番に呼び出す

▲ または▼ ボタンを押す

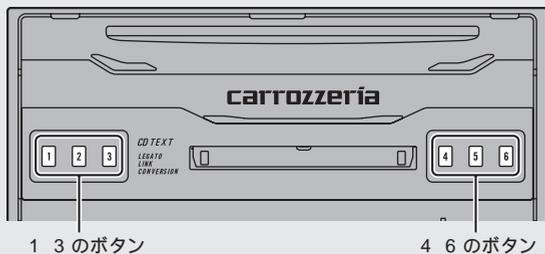
▲ : 次の記憶番号の放送局を呼び出すとき

▼ : 前の記憶番号の放送局を呼び出すとき



受信中の記憶番号

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



1 3 のボタン

4 6 のボタン

1 6 のボタンを押すときは、
フロントパネルを開きます。

FM 多重

8

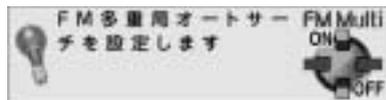
受信状態の良いFM 多重局を自動的に受信させる

FM 多重局オートサーチ

CDやMDなど(ラジオおよび交通情報を除く)を聞いている場合、選局しているFM 多重局の受信ができない状態が続いたときに、自動的に受信状態の良いFM 多重局を選局するように設定することができます。

1 FM 多重局オートサーチ設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(FM 多重 46 ページ)



2 FM 多重局オートサーチの設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



FM 多重局オートサーチのレベルが表示されます。

3 FM 多重局オートサーチ設定モードにする

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

LOW MID HIGH

LOW (低感度) : 約60秒間受信できない状態が続くとFM 多重局オートサーチを開始します。

MID (中感度) : 約35秒間受信できない状態が続くとFM 多重局オートサーチを開始します。

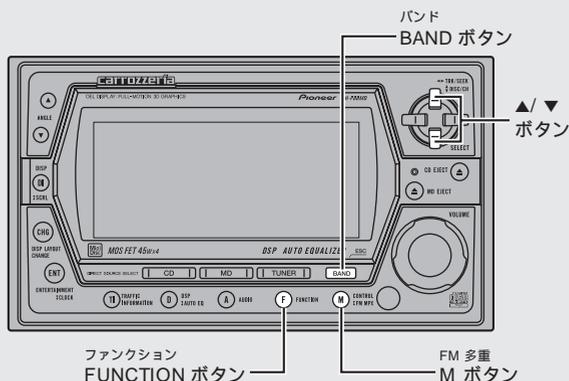
HIGH (高感度) : 約10秒間受信できない状態が続くとFM 多重局オートサーチを開始します。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

FM 多重局オートサーチは、FM 多重操作モードのときは動作しません。

FM 多重局オートサーチを行っているときは、ディスプレイのFM MULTI表示 (FM 多重 はじめに 12 ページ) が点滅します。さらに、FM 放送番組内容表示 (FM 多重 51 ページ) をしているときは、“多重局サーチ中です”と表示されます。



FM 多重

9

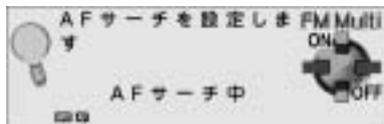
同じ系列 (番組内容) のFM 多重局を受信する

AFサーチ

受信しているFM多重局の受信状態が悪くなったときに、同じ系列 (同じ番組内容) の他のFM多重局を受信することができます。

1 AFサーチ設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(FM 多重④ 46 ページ)



AFサーチ中にAFインジケーターが点滅し、“AFサーチ中”が表示されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

2 同じ系列 (番組内容) のFM 多重局を呼び出す

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)

ご注意

ディスプレイのAF表示 (はじめに② 12 ページ) が表示されていないとき (同じ系列の放送局の情報が受信できない場合) は、“AFリストがありません”と表示され、動作しません。

メモ

FM 多重局によっては、同じ系列の放送局の情報が送信されない場合があります。

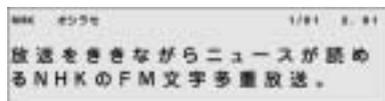
MD や CD などのソース (ラジオの AM 放送および交通情報を除く) を操作できる状態のまま、今ラジオの FM 放送で放送されている番組の内容を、FM 多重で見ることができます。

ご注意

AM 放送または交通情報を聞いているときは、FM 放送番組内容表示モードに切り換わりません。

1 FM 放送番組内容表示モードにする

M ボタンを 2 秒以上押す



ヘッドタイトル (放送局名や番組名など) と番組内容を表示します。

ディスプレイに FM 多重を表示した状態で、MD や CD などのソースの操作をすることができます。操作のしかたは(43 頁) ここでは

②③④⑥ 18 ~ 23、26、27 ページ)

メモ

FM 放送の番組内容を見ているときに、この操作以外の操作をすると、FM 放送番組内容表示モードは一度解除されますが、約 15 秒間で FM 放送番組内容表示モードに戻ります。

受信電波が弱い場合は、“データが受信できません” とメッセージが表示されたり、ページが正しく表示されないことがあります。受信状態の良い場所に移動するか、他の FM 多重局を選局してみてください。

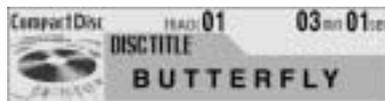
FM 多重局を選局していなかったときは、“データが受信できません” と表示されます。FM 多重局を選局してください。(43 頁) FM 多重① 42 ページ)

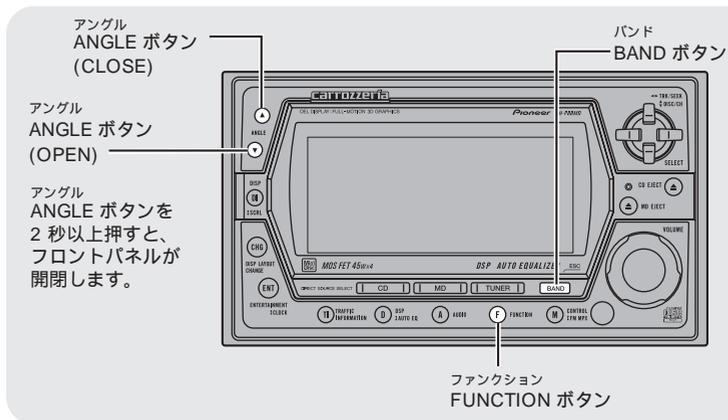
電話待ち受けのときは、FM 放送番組内容表示モードに切り換わりません。

2 FM 放送番組内容表示モードを解除する

もう一度 M ボタンを 2 秒以上押す

今聞いているソースの表示に戻ります。





マルチCD
1

50 枚型マルチCD プレーヤーの使用について

50 枚型マルチCD プレーヤーをご使用になる場合のご注意

本機では、50 枚型マルチCD プレーヤーの取扱説明書に記載されている 50 枚型マルチCD プレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

マルチCD
2

聞きたいCDを直接選ぶ

ダイレクトサーチ

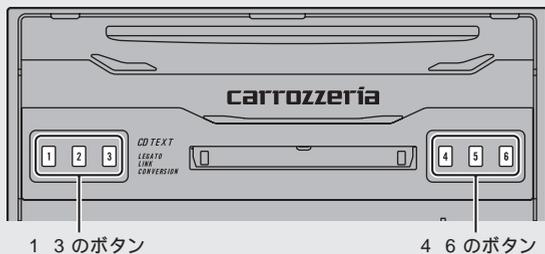
聞きたいCDを直接選ぶことができます。

1 聞きたいCDを選ぶ

- 1 ~ 6 のボタンを押す
- 2 秒未満：1 ~ 6 枚目のCDを選ぶとき
- 2 秒以上：7 ~ 12 枚目のCDを選ぶとき



CD 番号



1 3 のボタン

4 6 のボタン

1 6 のボタンを押すときは、
フロントパネルを開きます。

マルチCD 3 モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

再生範囲切換モード

(☞ マルチCD ⑥ 56 ページ)

ディスクリストモード

(☞ マルチCD ⑩ 66 ページ)

トラックリストモード¹

(☞ マルチCD ⑩ 67 ページ)

ランダムプレイ設定モード

(☞ マルチCD ⑤ 55 ページ)

スキャンプレイ設定モード

(☞ マルチCD ④ 54 ページ)

ITS プレイ設定モード

(☞ マルチCD ⑥ 58 ページ)

ポーズ設定モード

(☞ マルチCD ⑩ 65 ページ)

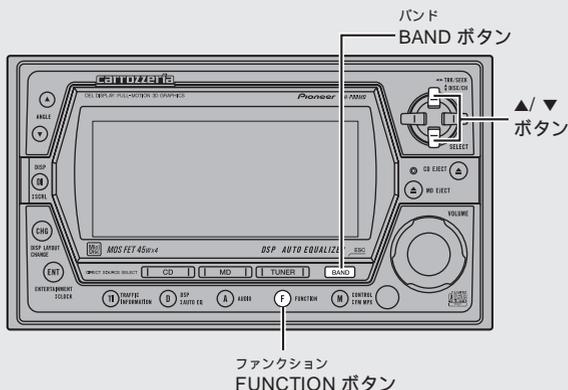
コンプレッション設定モード
(☞ マルチCD ⑩ 64 ページ)

再生範囲切換モードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約 30 秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

¹トラックリストモードは、「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー(「CDX-P650」など)で「CD TEXT」を再生しているときだけ切り換わります。



マルチCD 3 モードの切り換えかた (つづき)

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

ディスクタイトル入力モード ¹
(マルチCD ① 60 ページ)

ITS登録モード
(マルチCD ⑦ 57 ページ)

タイトル入力モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

¹「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P650」など）で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。（「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。）

マルチCD 4 聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

1 再生範囲切替モードにして再生範囲を選ぶ

(マルチCD ⑥ 56 ページ)

聞きたい曲をさがすとき
(トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートまたはトラックリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生できます。

聞きたいCDをさがすとき
(ディスクスキャン再生)

再生範囲をマルチCDリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生できます。

2 スキャンプレイ設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(マルチCD ⑤ 53 ページ)



マルチCD 5 5 いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

トラックスキャン再生 / ディスクスキャン再生 (つづき)

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順(ランダム)で再生することができます。

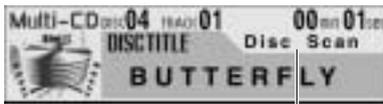
3 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生の種類が表示されます。

表示	再生範囲
Track Scan	ディスクリピート
Disc Scan	マガジンリピート

1 再生範囲切換モードにして再生範囲を選ぶ

(☞ マルチCD ⑤ 56 ページ)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

2 ランダムプレイ設定モードにする

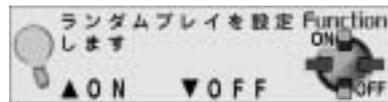
FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD ⑤ 53 ページ)



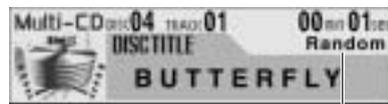
3 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

メモ

トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わります。

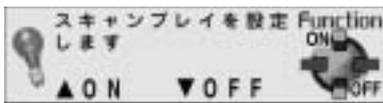
4 聞きたい曲 (CD) が再生されたらスキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンプレイ設定モードのときに

▼ ボタンを押す

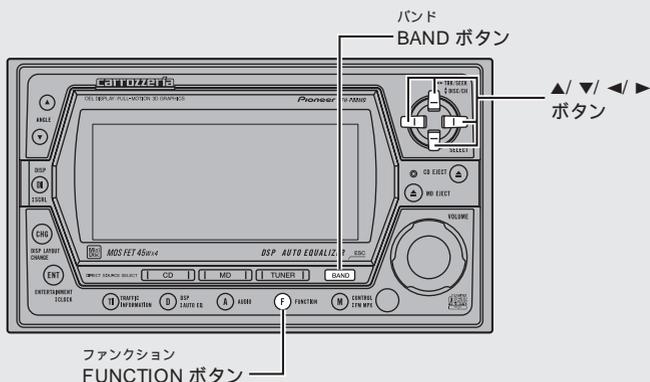


BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わります。



マルチCD 6 同じ曲やCDを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

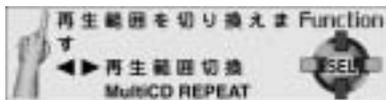
再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

再生範囲	リピート再生の内容
トラックリピート	再生中の曲を繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のCDを繰り返し再生します。
マルチCDリピート	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。(通常はこのモードにしておきます。)

1 再生範囲切替モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD 53 ページ)



2 再生範囲を切り換える

◀または▶ ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



TRACK REPEAT (トラックリピート)

DISC REPEAT (ディスクリピート)

MultiCD REPEAT (マガジンリピート)

TRACK REPEAT に戻る

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



トラックリピートのときに表示されます。

記憶させた曲だけ再生する (☞ マルチCD 8 60ページ) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (☞ マルチCD 9 58ページ) 機能です。

曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。CD1枚につき24曲まで記憶できます。(25曲以上収録されているCDでは、25曲目以降に収録されている曲は、記憶できません。)

ITSは、タイトル (☞ マルチCD 10 60ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

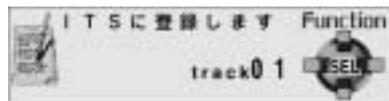
100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 記憶させたいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(☞ ここだけで 6 26ページ)

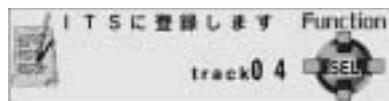
2 ITS登録モードにする

FUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ
(☞ マルチCD 9 54ページ)



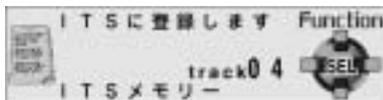
3 記憶させたい曲を選ぶ

◀または▶ボタンを押す
(☞ ここだけで 6 27ページ)



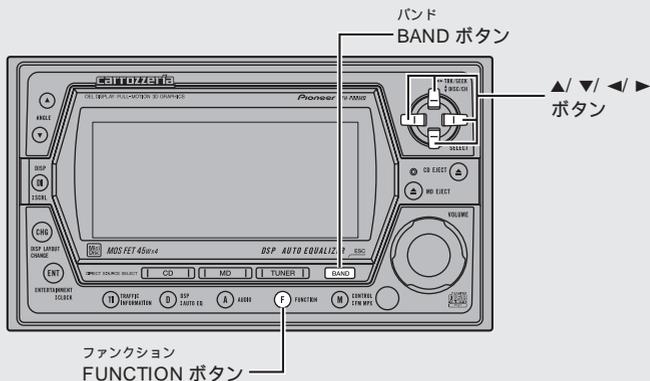
4 記憶させる

▲ボタンを押す



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

BANDボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD 8 記憶させた曲だけ再生する

ITS再生

ITS登録 (マルチCD 59 ページ) で記憶させた曲だけを再生することができます。

1 再生範囲切換モードにして再生範囲を選ぶ

(マルチCD 56 ページ)
選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

2 ITSプレイ設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(マルチCD 53 ページ)



3 ITS再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



ITS再生中に表示されます。

メモ

手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

1 ITS再生をONにする

(☞ マルチCD⑧)

2 消去したい曲を再生する

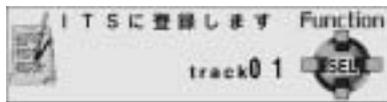
◀または▶ ボタンを押す

(☞ ここだけで⑥ 27 ページ)

3 ITS登録モードにする

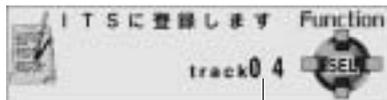
FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD③ 54 ページ)



4 消去する

▼ ボタンを押す



次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“ITS EMPTY” が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

記憶させた曲をCDごとに記憶から消す

ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

1 消去したいCDを再生する

▲または▼ ボタンを押す

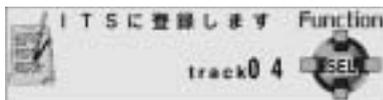
(☞ ここだけで⑥ 26 ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。(☞ マルチCD⑧)

2 ITS入力モードにする

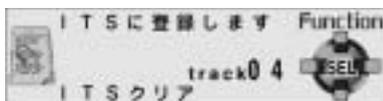
FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD③ 54 ページ)



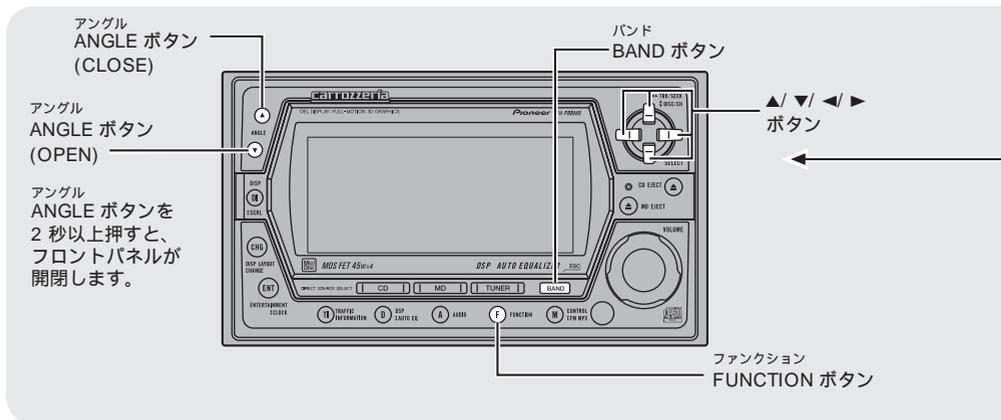
3 消去する

▼ ボタンを押す



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。



マルチCD 11 CDのタイトルを記憶させる

CDのタイトルを表示させるために、あらかじめタイトルを入力して記憶させておきます。

タイトル入力について

タイトル入力は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。タイトル入力しておくと、CD再生時に入力したタイトルが表示されます。

CDにタイトルをつけると、ディスクリスト (※ マルチCD 66 ページ) で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P650」など) では、「CD TEXT」にあらかじめ記憶されているCDタイトルで、同様にディスクリスト (※ マルチCD 66 ページ) やトラックリスト (※ マルチCD 67 ページ) を表示することができます。

タイトルは10文字まで入力できます。記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。

タイトルは、ITS (※ マルチCD 57 ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

▲または▼ボタンを押す
(※ ここだけで6 26 ページ)

2 タイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(※ マルチCD 54 ページ)



ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P650」など) に「CD TEXT」をセットしているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルは変更できません。)

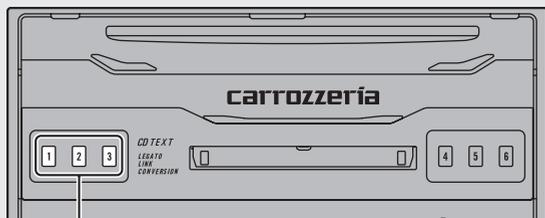
3 タイトルを入力する

入力する位置を選ぶとき

- ◀または▶ ボタンを押す
- ▶ : 右に移動させるとき
- ◀ : 左に移動させるとき



入力する位置でカーソルが点滅します。



1 3 のボタン

1 3 のボタンを押すときは、
フロントパネルを開きます。

タイトル入力

入力する文字を選ぶとき

▲または▼ボタンを押す

▲：次の文字を選ぶとき

▼：前の文字を選ぶとき

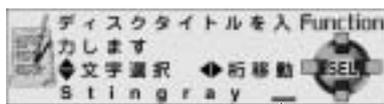


選んだ文字が点滅します。

選べる文字は次のように切り換わります。

押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a~z)、空白() アルファベットの大文字 (A~Z)、数字(0~9)、 記号(!、#、&など) 空白()
2ボタン	数字(0~9)、 記号(!、#、&など)、 空白()
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ(ア~ン)、 ハイフン(-)、 空白() 拗促音(ア、ヨ、ツなど)、 濁点、半濁点、 空白()

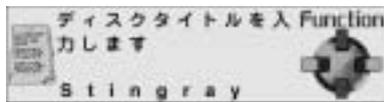
4 入力が終わったらカーソルをいちばん右に移動する



余ったところを空白にして、カーソルをいちばん右に移動させます。

5 入力したタイトルを記憶する

▶ ボタンを押す



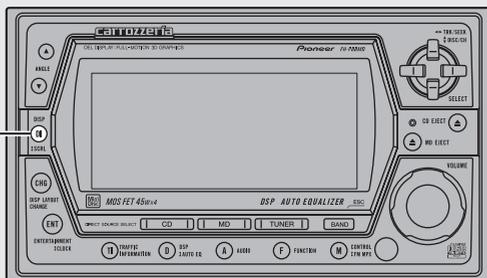
入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

BAND ボタンを押して、詳細設定モードを解除してください。

メモ

タイトル入力中(文字が点滅しているとき)にBAND ボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

ディスプレイ
DISPLAY ボタン



マルチCD 12 「CD TEXT」のタイトルや歌手名を表示させる

タイトル表示 / タイトルスクロール

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P650」など）に「CD TEXT」をセットしたとき、DISC TITLE（ディスク名）、DISC ARTIST（歌手名）などを表示させることができます。一度に全角で10文字、半角で20文字まで表示することができます。また、隠れている文字も順に表示させることができます。

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー（「CDX-P650」など）の機能です。

「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記のマークのついているCDは、「CD TEXT」です。（下記マークが付いていない「CD TEXT」もあります。）



タイトル表示について

本機はカナやアルファベットなどの半角文字だけでなく、ひらがなや漢字などの全角文字にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの全角文字の情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

表示をDISC TITLE（ディスク名）、TRACK TITLE（曲名）などに切り換えたときに、自動的に1回スクロール表示します。

表示切り換え

1 表示を切り換える

DISPLAYボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

DISC TITLE（ディスク名）

DISC ARTIST（歌手名）

TRACK TITLE（曲名）

TRACK ARTIST（歌手名）

DISC TITLE（ディスク名）に戻る



再生中の「CD TEXT」に記憶されている
タイトルが表示されます。

メモ

TRACK ARTIST（歌手名）などが記憶されていないCDで表示を切り換えると、“No Artist Name”などが表示されます。

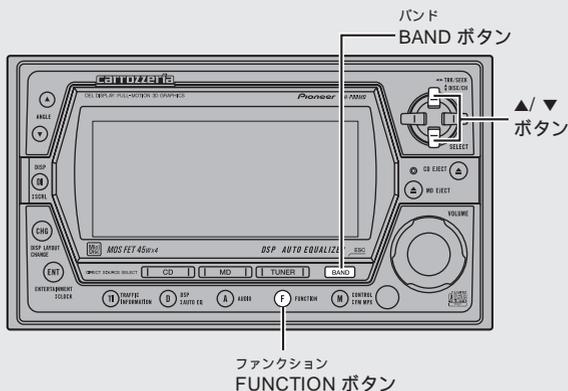
隠れている表示を表示する

7 隠れているタイトルを表示する

DISPLAY ボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されます。



マルチCD 13 CDの音質を調整する

コンプレッション / DBE

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

コンプレッションについて

コンプレッションは、大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス)の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

1 コンプレッション設定モードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(マルチCD ⑤ 53 ページ)



現在のコンプレッション/DBEの状態が表示されます。

2 機能を選ぶ

▲または▼ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

COMP OFF

COMP 1 (コンプレッション 1)

COMP 2 (コンプレッション 2)

COMP OFF

DBE 1

DBE 2

COMP OFF に戻る

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

コンプレッション、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

CD再生を一時停止
する

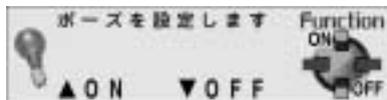
ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズ設定モードにする

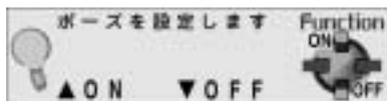
FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(▶ マルチCD ● 53 ページ)

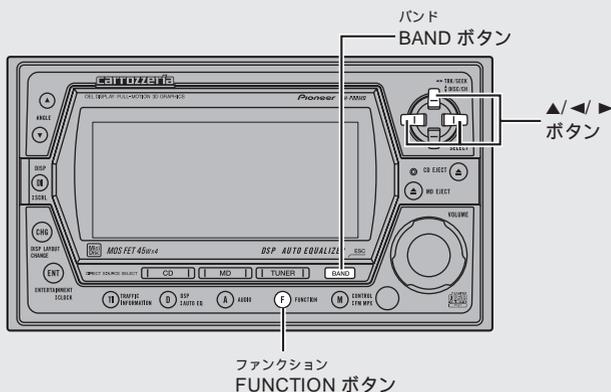


2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)

BAND ボタンを押して、ファンクションモード
を解除してください。

一時停止中に表示されます。



マルチCD 15 タイトルを見て聞きたいCDをさがす

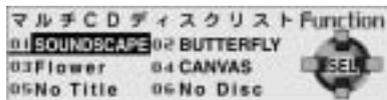
ディスクリスト

CDのタイトル一覧(ディスクリスト)を見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

1 ディスクリストモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(マルチCD ③ 53 ページ)



2 聞きたいCDを選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 次のCDのタイトルを選ぶとき

◀ : 前のCDのタイトルを選ぶとき



いま聞いているCDの番号の下に、
“_”が表示されます。

選んだCDのタイトルが反転表示
されます。

12枚連奏マルチCDなどに接続した場合、7枚目以降の曲を選ぶときは、◀または▶ ボタンを押してディスプレイをスクロールさせることで、次の6枚(7~12枚目)を表示させることができます。

3 選んだCDを再生する

▲ ボタンを押す



選んだCDの番号の下に “_” が移動して、
そのCDが再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

タイトルの前の番号は、1~6ボタンに対応しています。1~6ボタンを直接押して、聞きたいCDを選ぶこともできます。(7~12枚目が表示されているときも、1~6ボタンに対応しています。)

マルチCD内のトレイにCDが入っていないときは、“No Disc”が表示されます。また、タイトルが記憶されていないCDを入れたときは、“No Title”が表示されます。

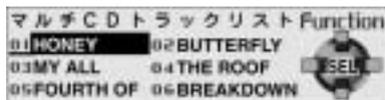
「CD TEXT」再生中に、曲名の一覧(トラックリスト)を見ながら、聞きたい曲を選ぶことができます。

チェック 「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー(「CDX-P650」など)の機能です。

1 トラックリストモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(☞ マルチCD 53 ページ)



ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー(「CDX-P650」など)に「CD TEXT」をセットしているときだけ、トラックリストモードに切り換わります。)

2 聞きたい曲を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲のタイトルを選ぶとき
- ◀ : 前の曲のタイトルを選ぶとき



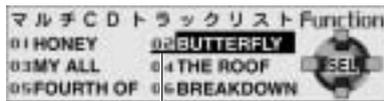
いま聞いている曲の番号の下に、“_”が表示されます。

選んだ曲のタイトルが反転表示されます。

7曲目以降の曲を選ぶときは、◀ または ▶ ボタンを押してディスプレイをスクロールさせることで、次の6曲(7~12曲目)を表示させることができます。

3 選んだ曲を再生する

▲ ボタンを押す



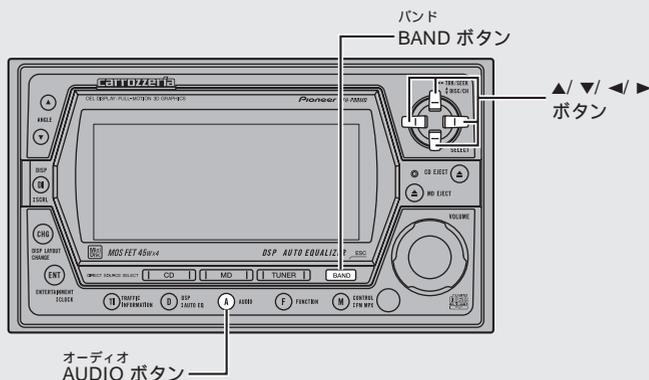
選んだ曲の番号の下に“_”が移動して、その曲が再生されます。

BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

タイトルの前についている曲の番号は、1~6ボタンに対応しています。1~6ボタンを直接押して、聞きたい曲を選ぶこともできます。(7~12曲目が表示されているときも、1~6ボタンに対応しています。)

「CD TEXT」に曲名が収録されていないときは、“No Title”が表示されます。



音の調節

1

瞬時に音量を小さくする

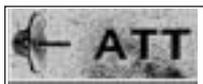
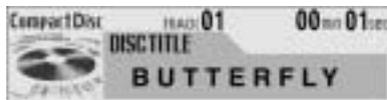
アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

1

瞬時に音量を小さくする

リモコンのATTボタンを押すボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのときに点滅します。アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。

音の調節

2

オーディオ調節モードの切り換えかた

1

オーディオ調節モードを切り換える

AUDIO ボタンを押すボタンを押すごとに次のように切り換わります。

音量バランス調節モード (音の調節④)

ラウドネスモード (音の調節④)

ASLモード (音の調節⑤ 70ページ)

SLAモード¹ (音の調節⑥ 71ページ)

音量バランス調節モードに戻る

メモ

オーディオ調節モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

¹ラジオのFM放送を聞いているときは、SLAモードには切り換わりません。

前後左右の音量 バランスを調節する

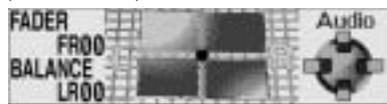
フェーダー / バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。

1 音量バランス調節 モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

( 音の調節②)



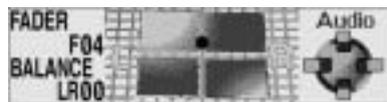
2 音量バランスを調節する

前後を調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 前を強めるとき

▼ : 後ろを強めるとき



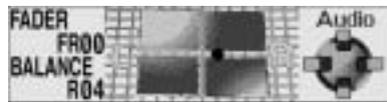
前後のバランスは F25 ~ R25 の範囲で調節できます。

左右を調節する

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 右を強めるとき

◀ : 左を強めるとき



左右のバランスは L25 ~ R25 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

小音量時の音に メリハリをつける

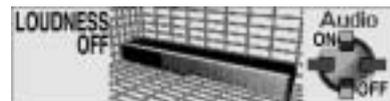
ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 ラウドネスモードにする

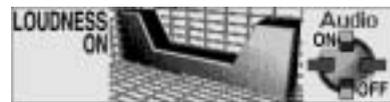
AUDIO ボタンを押して選ぶ

( 音の調節②)

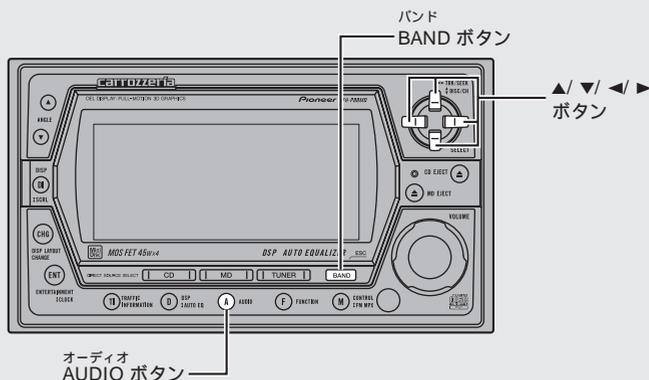


2 ラウドネスを ON にする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで OFF)



BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。



音の調節 5 騒音に合わせて音量を変える

ASL

騒音に合わせて、自動的に音量が変わるようにすることができます。

ASLについて

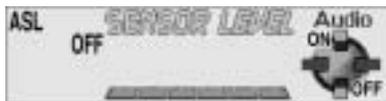
ASLとは、Automatic Sound Levelizer (オートマッチック サウンド レベライザー)の略です。

ASLは、走行速度や道路状況によって変化する車内の騒音を検出して、騒音が大きくなると自動的に音量を大きくする機能です。

1 ASLモードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ

(音の調節② 68ページ)



2 ASLをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



3 ASLの感度を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 感度を高くするとき
- ◀ : 感度を低くするとき



LOW、MID-LOW、MID、MID-HIGH、HIGHの中から選ぶことができます。

BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

音量が十分にあるときは、騒音が大きくても、音量の上げ幅は小さくなります。この機能が働いて音量が上がすぎたとき、音が歪むことがあります。そのときはVOLUMEで音量を下げてください。

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

1 FM放送を受信し、FMの音量を確かめる

TUNER ボタンを押す
( ここだけで④ 22 ページ)

2 調節したいソースに切り換える

CD ボタン、MD ボタンまたは TUNER ボタンを押して選ぶ
( ここだけで① 16 ページ)

3 SLA モードにする

AUDIO ボタンを押して選ぶ
( 音の調節② 68 ページ)

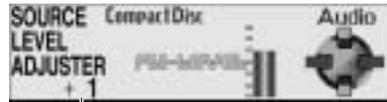


4 レベルを調節する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



レベルは - 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

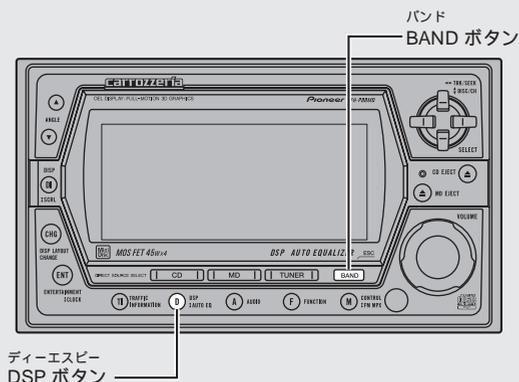
BAND ボタンを押して、オーディオ調節モードを解除してください。

メモ

SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。

FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモードに切り換えることはできません。

AM、テレビ、CD、MD、AUX (外部機器)、External1、2(エクスターナルユニット)のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、内蔵MDとマルチMD、External1とExternal2、およびAMと交通情報 ( 便利な機能① 90 ページ) は同じ設定になります。



DSP 調節

1

DSP 調節モードの切り換えかた

DSP の機能を使って音場と音質を調節するときは、DSP 調節モードに切り換えて操作します。

DSP 調節モード1の切り換え

1 DSP 調節モード1を切り換える

DSP ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

オートイコライザーモード 1

(DSP 調節 ④ 75 ページ)

グラフィックイコライザーモード

(DSP 調節 ④ 76 ページ)

イコライザー調節モード 2

(DSP 調節 ⑥ 78 ページ)

SFC モード

(DSP 調節 ⑦ 80 ページ)

OCTAVER モード

(DSP 調節 ⑧ 81 ページ)

リスニングポジションセレクターモード

(DSP 調節 ⑨ 74 ページ)

グラフィックイコライザーモードに戻る

メモ

DSP 調節モード1を解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されません。)

¹ オートイコライジング (DSP 調節 ⑫ 88 ページ) を行っていないときは、オートイコライザーモードには、切り換わりません。

² グラフィックイコライザーモードで "CUSTOM" を選んでいないときは、イコライザー調節モードには、切り換わりません。

DSP調節モード2の切り換え

1 DSP調節モード2にする

DSPボタンを2秒以上押す

2 DSP調節モード2を切り換える

DSPボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

サブウーファー設定モード²

( DSP調節⑨ 82ページ)

サブウーファー調整モード^{2 3}

( DSP調節⑨ 83ページ)

フロントハイパスフィルター調整モード

( DSP調節⑩ 84ページ)

リアハイパスフィルター調整モード

( DSP調節⑩ 85ページ)

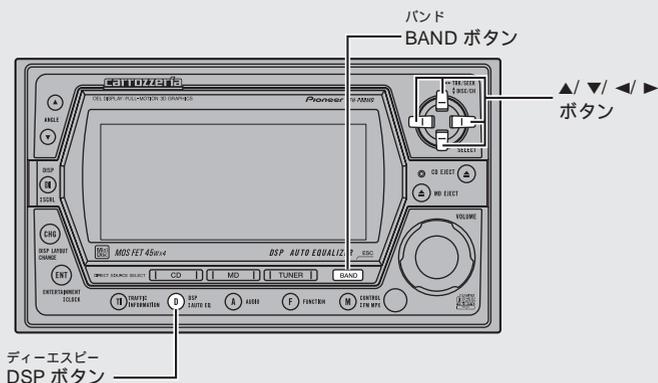
サブウーファー設定モードに戻る

メモ

DSP調節モード2を解除するには、BANDボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

²RCA外部出力の設定 ( 便利な機能⑥ 94ページ) をリア出力にした場合は、サブウーファー設定モード、サブウーファー調整モードには切り換わりません。

³サブウーファー設定モード ( DSP調節⑨ 82ページ) をOFFにした場合は、サブウーファー調整モードには切り換わりません。



DSP調節 2 音場の中心で聞く

リスニングポジションセクター

乗車位置や人数に合わせて、聞く位置を選ぶことができます。

リスニングポジションセクターについて



リスニングポジションセクターは、座席位置や人数に合わせて、自動的に各スピーカーから出る音の遅延時間とレベルが調節される機能です。この機能により、どの座席位置でも自然な音響特性が得られます。

表示	乗車位置
FRONT SEAT RIGHT	右ハンドル車に運転者のみがいるとき
FRONT SEAT LEFT	左ハンドル車に運転者のみがいるとき
FRONT SEAT RIGHT & LEFT	同乗者が助手席にいるとき
ALL SEAT	同乗者が後部座席にいるとき

乗車位置について

- FRONT SEAT RIGHT
- FRONT SEAT LEFT
- FRONT SEAT RIGHT & LEFT
- ALL SEAT

1 リスニングポジションセクターモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP 調節 ① 72 ページ)



2 乗車位置を選ぶ

▲、▼、◀、▶ ボタンを押す
ボタンを押すごとにON/OFFします。

- ▶ : FRONT SEAT RIGHT
- ◀ : FRONT SEAT LEFT
- ▲ : FRONT SEAT RIGHT & LEFT
- ▼ : ALL SEAT



選んだ乗車位置が表示されます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モード1を解除してください。

メモ

リスニングポジションごとに、音量バランス (DSP 音の調節 ④ 69 ページ) を記憶させることができます。

DSP 調節 3 オートイコライザーカーブを呼び出す

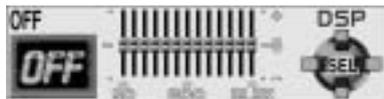
オートイコライザー切り換え

オートイコライジング (DSP 調節 ⑫ 88 ページ) で作成したオートイコライザーカーブを選ぶことができます。

1 オートイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP 調節 ① 72 ページ)



2 オートイコライザーカーブを切り換える

◀または▶ ボタンを押して選ぶ
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

OFF DINAMIC

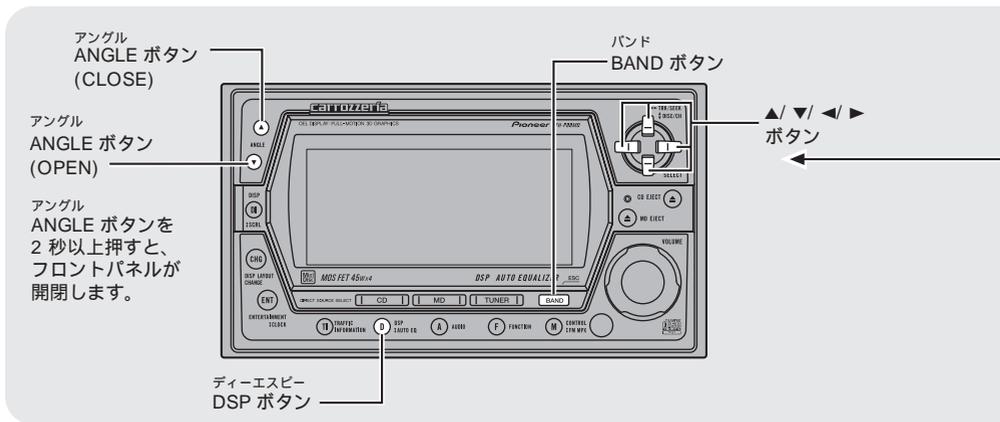
MILD NATURAL

表示	説明
DINAMIC	ジャズやロックなどのビートのある音楽再生に適した音響特性に補正します。
NATURAL	車室内の音響特性がフラットに近づくように補正します。
MILD	静かな音楽が車室内でよく通るような音響特性に補正します。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モード1を解除してください。

メモ

オートイコライジング (DSP 調節 ⑫ 88 ページ) を行っていないときは、オートイコライザーモードには切り換わりません。



DSP 調節
4

音楽に合った音質を設定する

グラフィックイコライザー

音楽ジャンルに合わせて設定されているもの5種類 (ファクトリーカーブ) と自分で設定できるもの (CUSTOM) の中からイコライザーカーブを選ぶことができます。

FLATとCUSTOM について

FLAT (5のボタン)

何の補正もしていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えて、効果を確かめるのに使くと便利です。

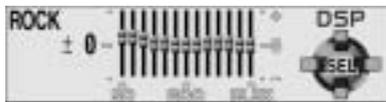
CUSTOM (6のボタン)

ニュアンスコントロール (E DSP 調節⑤) やイコライザー調節 (E DSP 調節⑥ 78ページ) により、イコライザーカーブをお好みに応じて調節し、記憶させることができます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(E DSP 調節① 72ページ)



2 イコライザーカーブを切り換える

直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンの1つを押す

- 1 ~ 5 のボタン : ファクトリーカーブ
- 6 のボタン : CUSTOM

順番に呼び出す

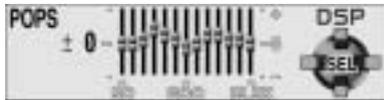
◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

ROCK (1のボタン) POPS (2のボタン)

CUSTOM (6のボタン) HIPHOP (3のボタン)

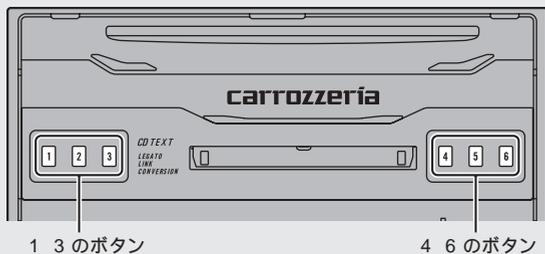
FLAT (5のボタン) TECHNO (4のボタン)



BAND ボタンを押して、DSP 調節モード1を解除してください。

メモ

交通情報 (E 便利な機能① 90ページ) を受信しているときは、イコライザーカーブを選ぶことはできません。



1 3 のボタン

4 6 のボタン

1 6 のボタンを押すときは、
フロントパネルを開きます。

DSP 調節

5

イコライザーカーブを大まかに調整する

ニュアンスコントロール

呼び出したイコライザーカーブは、全体的なバランスはくずさずに、大まかに強めたり弱めたりすることができます。

1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ
(DSP 調節① 72 ページ)

2 調整したいイコライザーカーブに切り換える

直接呼び出す

1 ~ 6 のボタンの1 つを押す

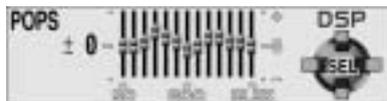
順番に呼び出す

◀ または ▶ ボタンを押す

(DSP 調節④)

ご注意

FLAT および、FLAT が記憶されている CUSTOM を調整することはできません。



3 イコライザーカーブを調整する

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : 効果を強めるとき

▼ : 効果を弱めるとき



- 5 ~ + 6 の範囲で調整できます。

(CUSTOM は - 6 ~ + 6 の範囲で調整できます。ただし、記憶されているカーブによっては、調整できる範囲が狭くなることがあります。)

4 お好みにより、調整したイコライザーカーブを記憶させる

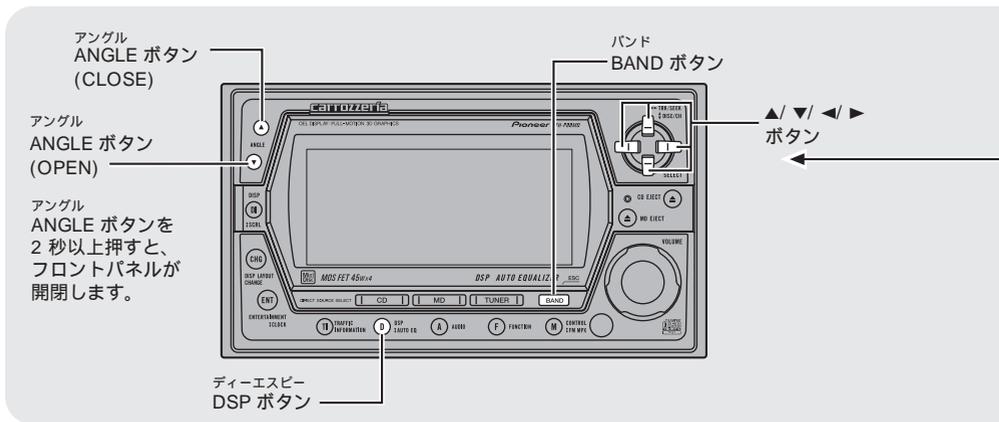
6 のボタンを2 秒以上押す

6 のボタンに記憶されます。

ご注意

調整したイコライザーカーブを残しておきたいときは、CUSTOM (6 のボタン) に記憶させてください。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モード 1 を解除してください。



DSP 調節
6

イコライザーカーブを細かく調節する

CUSTOM は、お好みに合わせてイコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。調節した内容は自動的に記憶されます。

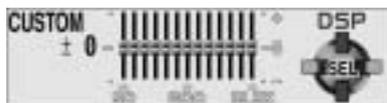
1 グラフィックイコライザーモードにする

DSP ボタンを押して選ぶ
(DSP 調節 ● 66 ページ)

2 イコライザーカーブを CUSTOM にする

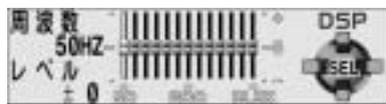
直接呼び出す
6 のボタンを押す
順番に呼び出す

◀または▶ ボタンを押して選ぶ
(DSP 調節 ● 76 ページ)



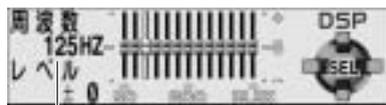
3 イコライザー調節モードにする

DSP ボタンを押す



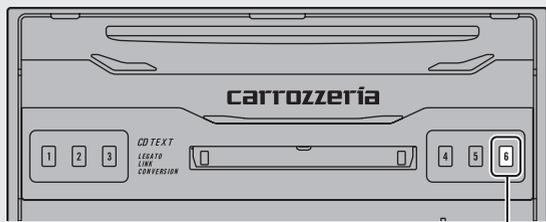
4 各周波数ごとのレベルを調節する

周波数を選ぶ
◀または▶ ボタンを押す



周波数は、次の中から選べます。

- 選べる周波数 [Hz]
- 50, 80, 125, 200, 315, 500, 800, 1.25k,
 - 2k, 3.15k, 5k, 8k, 12.5k



6 のボタンを押すときは、
フロントパネルを開きます。

6 のボタン

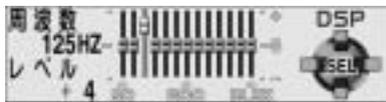
イコライザー調節

レベルを調節する

▲または▼ボタンを押す

▲：強めるとき

▼：弱めるとき

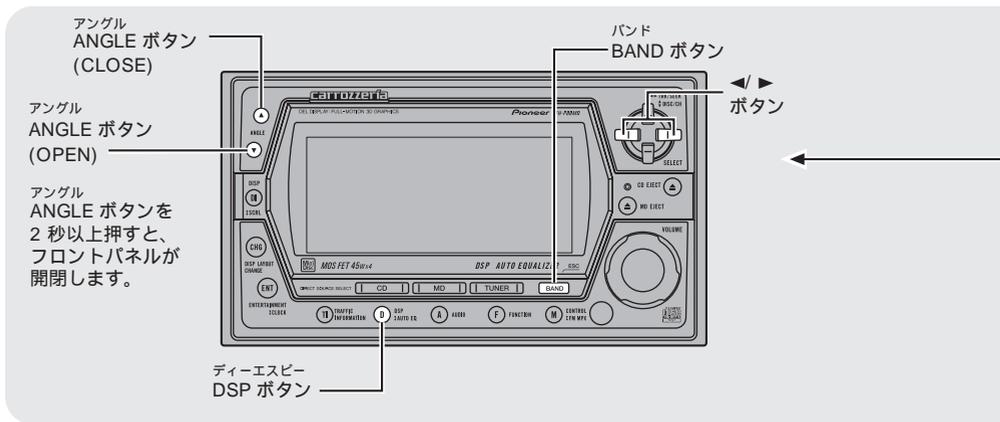


- 6 ~ + 6 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モード 1
を解除してください。

メモ

調節したイコライザーカーブ (CUSTOM) は、
ソースごとに記憶されます。なお、内蔵 CD とマル
チ CD、内蔵 MD とマルチ MD、および External 1 と
External 2 は同じ設定になります。なお、一度も調
節をしていないソースでは、最後に他のソースで
調節した内容が CUSTOM に記憶されます。



DSP調節 7 イメージに合った演奏会場を再現する

SFC

SFCで実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。

SFC について

SFCとはSound Field Control (サウンドフィールドコントロール)の略です。SFCは、車室内にリアルな音場を再現することができます。STUDIOやDOMEなど、6つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。

1 SFCモードにする

DSPボタンを押して選ぶ

(DSP調節 ① 72ページ)



2 音場プログラムを選ぶ

直接呼び出す

1～6のボタンを押す(同じボタンをもう一度押すとOFF)

順番に呼び出す

◀または▶ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

SFC OFF STUDIO (1のボタン)

JAZZ (2のボタン)

STADIUM (6のボタン)

CLUB (3のボタン)

DOME (5のボタン)

HALL (4のボタン)

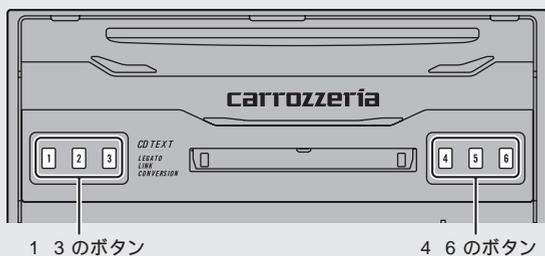


BANDボタンを押して、DSP調節モード1を解除してください。

メモ

OCTAVER (DSP調節 ⑥) が選ばれているときにSFCを選ぶと、OCTAVERは自動的にOFFになります。

インジケーターについては (はじめに ② 12ページ)



1 3 のボタン

4 6 のボタン

1 6 のボタンを押すときは、
フロントパネルを開きます。

DSP調節

8

低音を強調する

OCTAVER

OCTAVER で低音を強調し重量感のある音を聞くことができます。

OCTAVER について

サブウーファー帯域の超低音域を補うことで、低音を強調した重量感のある音で聞くことができます。OCTAVER 2の方がOCTAVER 1より低音を強調する効果があります。

1 OCTAVER モードにする

DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP調節① 72 ページ)



順番に呼び出す

◀または▶ ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

OCTAVER OFF

OCTAVER 1 (1のボタン)

OCTAVER 2 (2のボタン)



BAND ボタンを押して、DSP 調節モード 1
を解除してください。

メモ

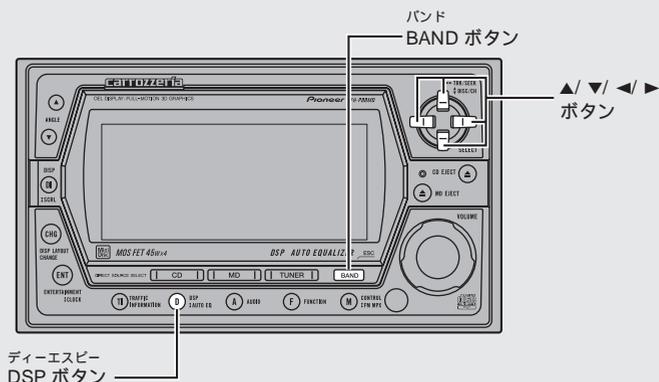
SFC (DSP調節⑦) が選ばれているときに
OCTAVER を選ぶと、SFC は自動的にOFF になり
ます。

インジケーターについては (はじめに② 12 ページ)

2 OCTAVER の効果を選ぶ

直接呼び出す

1 または 2 のボタンを押す (同じボタン
をもう一度押すと OFF)



DSP調節 9 サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、RCA出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。(この機能は、初期設定でONになっています。)

位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転(干渉)すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相(フロント/リアスピーカーと同時に出力される)が良いか、逆相(フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される)が良いかを選んで設定してください。

カットオフ周波数について

50、63、80、100、125、160、200(単位: Hz)から選んだ周波数以下の音域がサブウーファーから出力されます。

1 サブウーファー設定モードにする

DSPボタンを2秒以上押してから
DSPボタンを押して選ぶ

(※ DSP調節 73ページ)



2 サブウーファーをONにする

▲ボタンを押す(▼ボタンでOFF)



3 位相を切り換える

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : PHASE : NORMAL (正相)

◀ : PHASE : REVERSE (逆相)



REVERSE と NORMAL に切り換えることができます。

4 サブウーファー調整モードにする

DSP ボタンを押す



5 カットオフ周波数とレベルを調節する

周波数を選ぶとき

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、63、80、100、125、160、200 (Hz) の中から選ぶことができます。

レベルを調節するとき

▲ または ▼ ボタンを押す

▲ : レベルを大きくするとき

▼ : レベルを小さくするとき



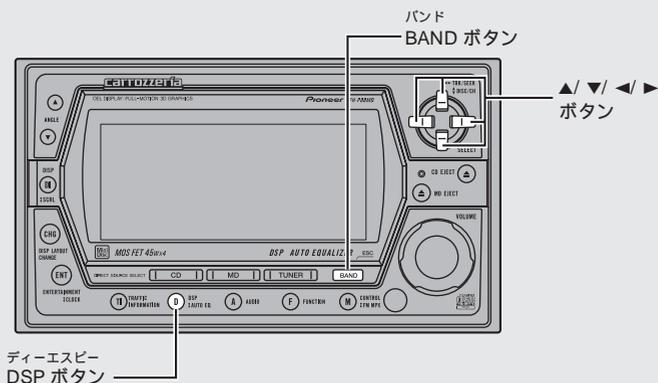
レベルは - 24 ~ + 06 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モード 2 を解除してください。

メモ

RCA 外部出力の設定 (☞ 便利な機能 ⑨ 94 ページ) をリア出力にした場合は、サブウーファー設定モード、サブウーファー調整モードには切り換わりません。

サブウーファー設定モードを OFF にした場合は、サブウーファー調整モードには切り換わりません。インジケーターについては (☞ はじめに ② 12 ページ)



DSP調節
10

低い音をスピーカーから出力させないようにする

ハイパスフィルター (HPF)

ハイパスフィルターをONにすると、選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されなくなります。フロントスピーカー、リアスピーカーのそれぞれでお好みの周波数を設定することができます。

ハイパスフィルター (HPF) について

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域 (低域) をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターをONにすることにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。

カットオフ周波数について

50、80、125、200 (単位: Hz) から選んだ周波数より高い音域がフロントまたはリアスピーカーから出力されます。

フロントスピーカーの調整をするとき

1 フロントハイパスフィルター調整モードにする

DSP ボタンを2秒以上押してから、DSP ボタンを押して選ぶ

(DSP調節 ① 73ページ)



2 フロントハイパスフィルターをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



3 フロントハイパスフィルターのカットオフ周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、80、125、200 (Hz) の中から選ぶことができます。

選んだ周波数より高い周波数の音だけが、フロントスピーカーから出力されます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モード2を解除してください。

リアスピーカーの調整をするとき

1 リアハイパスフィルター調整モードにする

DSP ボタンを2秒以上押してから、DSP ボタンを押して選ぶ

( DSP 調節① 73 ページ)



2 リアハイパスフィルターをONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



3 リアハイパスフィルターの cutoff 周波数を選ぶ

◀ または ▶ ボタンを押す

▶ : 高い周波数を選ぶとき

◀ : 低い周波数を選ぶとき



50、80、125、200 (Hz) の中から選ぶことができます。

選んだ周波数より高い周波数の音だけが、リアスピーカーから出力されます。

BAND ボタンを押して、DSP 調節モード2を解除してください。

オートイコライジングを行う前に

オートイコライジングを行う前に必ずお読みください。



警告

走行中にオートイコライジングを行わない



禁止

走行中にオートイコライジングを行わないでください。オートイコライジング機能は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

スピーカーの破損防止について

次の状態でオートイコライジングを行うと、スピーカーが破損する恐れがあります。オートイコライジングを行う前に、よく確認してください。

スピーカーの接続を誤っている場合

(例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)

スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している場合

オートイコライジング機能について

車室内空間は、その狭さや複雑な形状、材質により、ホームオーディオに比べ、一般的に音響特性が大きく乱れています。このような車室内の音響特性を補正するためにイコライザーを使用しますが、測定器などを使用せずに設定するのはかなり困難な作業になります。

本機のオートイコライジング機能は、車室内の音響特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて、車室内の音響特性が乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動的に補正します。(イコライザーカーブを呼び出したときは、オートイコライジングにより、乱れの少ない滑らかな特性になった上でイコライザーカーブが設定されますので、より効果的になります。)

オートイコライジングを行う前にお読みください

オートイコライジングは、なるべく静かな所で、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めて行ってください。また、携帯電話や自動車電話などを車載している場合は、電話を車外へ持ち出さず電源を切ってからオートイコライジングを行ってください。計測音以外の音（車周辺の騒音、エンジン音、電話の着信音など）によって、車室内の音響特性が正しく測定できないことがあります。

オートイコライジングは、必ず付属のマイクを使用して行ってください。付属のマイク以外のマイクでは、オートイコライジングが実行できなかったり、車室内の音響特性が正しく測定できません。

フロントスピーカーとリアスピーカーが、どちらも接続されていない場合は、オートイコライジングが実行できません。（どちらかが接続されていれば、オートイコライジングが実行できます。）

入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合に、パワーアンプの入力レベルコントロールを下げていたり、オートイコライジングが実行できない場合があります。パワーアンプの入力レベルコントロールは推奨位置に合わせてください。

オートイコライジングを行うと、サブウーファアの位相、レベルが自動的に調節され、お客様が調節された内容は変更されません。（サブウーファアを接続している場合、サブウーファア出力（☞ DSP調節① 82ページ）をOFFにしてもサブウーファアはONになり、自動的に調節されます。）

オートイコライジングを行うと前後左右の音量バランス調節（☞ 音の調節④ 69ページ）の設定がリセットされ、初期設定に戻ります。

オートイコライジングを行うと、イコライザーカーブは、FLATに設定されます。

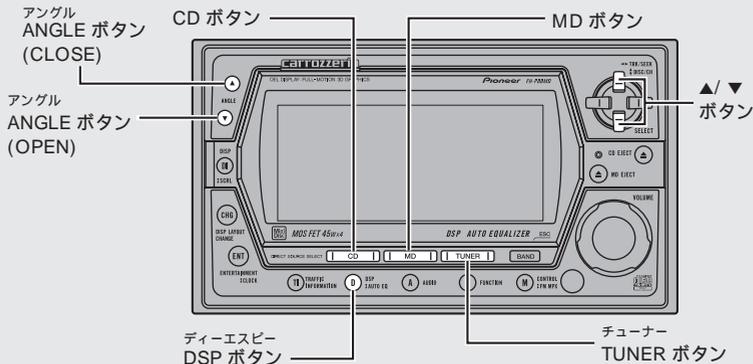
オートイコライジングを行うと、リスニングポジションセレクター（☞ DSP調節② 74ページ）は、FRONT SEAT RIGHTに設定されます。（ただし、FRONT SEAT LEFTに設定していたときだけは、FRONT SEAT LEFTのままになります。）

オートイコライジングの調節内容について

一度オートイコライジングを行った後に、RCA外部出力設定（☞ 便利な機能⑥ 94ページ）を切り換えると、オートイコライジングの調節内容が消去されます。再度、オートイコライジングを行ってください。

一度オートイコライジングを行った後に、再度オートイコライジングを行った場合は、前のオートイコライジングの調節内容は消去されます。

オートイコライザーカーブのディスプレイ表示（☞ DSP調節③ 75ページ）は、車内の総合的な測定結果を含んだ表示です。実際の車内の音場とは少し異なります。



DSP 調節 12

オートイコライジングを行う

オートイコライジングの調節

本機では、車室内の音響特性に合わせて最適に自動補正した3種類のイコライザーカーブを作成することができます。

1 車の環境を整える

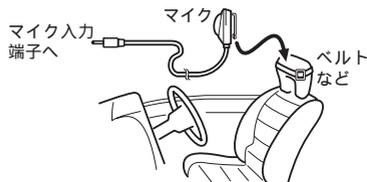
静かな所に車を停車させる
ドア、窓、サンルーフなどを閉める
車のエンジンを停止させる

ご注意

車のエアコンやヒーターがON になっている場合は、OFF にしてください。エアコンやヒーターのファンの騒音によってオートイコライジングが実行できないことがあります。

2 マイクをセットする

ベルトなどを使用して、運転席のヘッドレストの中央に付属のマイクを前向きに固定する



ご注意

マイクの取付位置が悪いと、測定音が大きくなったり測定時間がかかったりして、車のバッテリーが上がる恐れがあります。マイクは必ず指定の位置に取り付けてください。

4 本機の電源を入れる

CD ボタン、MD ボタンまたはTUNER ボタンを押して選ぶ

5 乗車位置を決定する

リスニングポジションセレクターモードにして、乗車位置をマイクをセットした座席に設定する

(※ DSP 調節② 74 ページ)

メモ

乗車位置をFRONT SEAT RIGHT またはFRONT SEAT LEFT 以外に設定したときは、オートイコライジングを始めると、強制的にFRONT SEAT RIGHT に再設定されます。

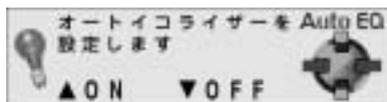
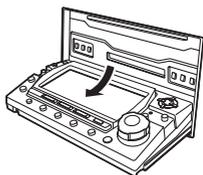
6 本機の電源を切る

CD ボタン、MD ボタンまたはTUNER ボタンを押して選ぶ

3 車のエンジンスイッチをACC またはON にする

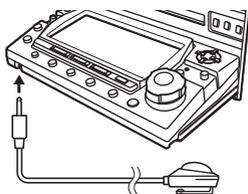
7 オートコライジングモードにする

DSP ボタンを
2 秒以上押す
フロントパネルが
開きます。



8 マイクを本機に接続する

付属のマイクをマイク入力端子に接続する

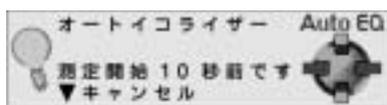


メモ

フロントパネルがシフトレバーに当たったり、シフトレバーがマイクを接続する妨げになる場合は、BAND ボタンを押して、オートコライジングモードをいったん解除します。
ANGLE ボタンを押して、マイクを接続できる角度に調節した後に、マイクをマイク入力端子に接続します。そして、DSP ボタンを2秒以上押して、手順9に進んでください。

9 オートコライジングを始める

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで途中解除)



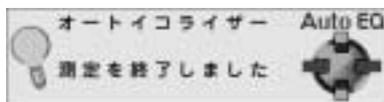
ご注意

オートコライジングを行っているときは、CD や MD の挿入などでソース切り換えをしないでください。

10 車外に出る

10 秒のカウントダウンが始まるので、10 秒以内に車外に出て、ドアを閉める計測音 (ノイズ) が各スピーカーから出力され、オートコライジング (音響特性の測定および補正) が始まります。

11 オートコライジングが自動的に終了する



オートコライジング操作が終わったらセットしたマイクを取り外し、BAND ボタンを押して電源を切り、ANGLE (CLOSE) ボタンを押してフロントパネルを元の位置に戻してください。オートコライジングが正常に終了した後は、3 種類のオートコライザーカーブが作成され、好みのカーブを選ぶことができますようになります。(※ DSP 調節 75 ページ) また、オートコライザーモードを ON にしているときは、“AUTO EQ” インジケーターが点灯します。(※ はじめに 12 ページ)

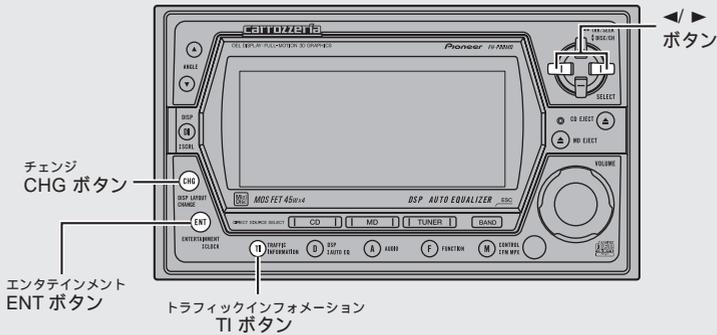


注意

フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。
フロントパネルを全開にしたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。

メモ

オートコライジングを途中でやめなくなったときは、BAND ボタンを押してください。強制的に解除して、電源 OFF になります。
マイクをセットする位置により、オートコライジングの調節内容が変わります。
お好みにより、助手席にセットすることもできます。マイクはグローブボックスなどに、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になる恐れがあります。



便利な機能

1

交通情報を受信する

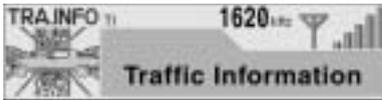
トラフィックインフォメーション

AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

1

交通情報を受信する

TI ボタンを押す



交通情報を受信します。

3

交通情報の受信をやめる

TI ボタンを押す

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

メモ

電話待ち受け中以外のときは、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。交通情報を受信しているときは、交通情報用の音量を設定することができます。交通情報を受信すると、SFC (DSP調節 80 ページ) およびOCTAVER (DSP調節 81 ページ) がOFFになり、イコライザーカーブは交通情報用になります。交通情報の受信をやめるとイコライザーカーブは、元の状態に戻ります。

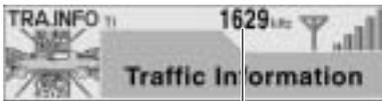
2

放送に合わせて 周波数を切り換える

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 1,629 kHzにするととき

◀ : 1,620 kHzにするととき



受信周波数

ディスプレイの表示を切り換える

表示切り換え

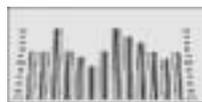
ディスク名などのソースごとの通常表示のほか、ソース表示、エンタテインメント表示の3パターンに切り換えることができます。また、それぞれの表示は位置を入れ換えることができます。

1 表示を切り換える

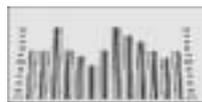
CHGボタンを押す

ボタンを押すごとに、次のようにディスプレイが切り換わります。

通常表示



ソース表示 (例: 内蔵CD)



エンタテインメント表示

(例: スペクトラムアナライザーモード1)



通常表示に戻る

メモ

エンタテインメント表示を切り換えるには (E) 便利な機能(9)

エンタテインメント表示を切り換える

エンタテインメント表示

エンタテインメント表示を切り換えることができます。車内で、いろいろな表示を楽しむことができます。

エンタテインメント表示について

エンタテインメント表示は、MDやラジオなどを聞いているときに、ディスプレイにいろいろな動画などを表示する機能です。

1 エンタテインメントを表示する

ENTボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
スペクトラムアナライザーモード1

スペクトラムアナライザーモード2

レベルインジケーター

ムービースクリーンモード1 (スクランブル)

ムービースクリーンモード2 (アトランティス)

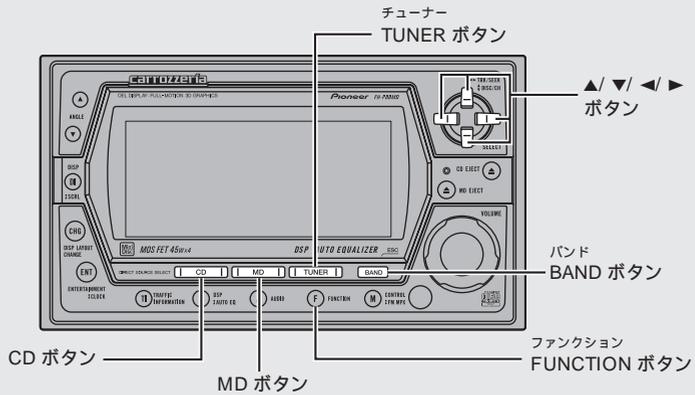
ASL効果量表示

カレンダー

スペクトラムアナライザーモード1に戻る

メモ

ASLの設定 (E) 音の調節(5) 70ページ) をONにすると、ASLの効果量をレベルインジケーターで表示します。



便利な機能 4 初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

1 電源をOFFにする

CD ボタン、MD ボタンまたはTUNER ボタンを押す

(☞ ここだけで① 16 ページ)

2 初期設定モードにする

電源がOFFのときに、FUNCTION ボタンを2秒以上押す

3 初期設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

カレンダー・時計設定モード
(☞ 便利な機能⑤)

AUX (外部機器) モード
(☞ 便利な機能⑧ 95 ページ)

ディマーモード
(☞ 便利な機能⑦ 94 ページ)

RCA 外部出力モード
(☞ 便利な機能⑥ 94 ページ)

デジタルアッテネーター設定モード
(☞ 便利な機能⑫ 97 ページ)

FM 多重用オートアンテナモード
(☞ 便利な機能⑪ 96 ページ)

自動時刻補正設定モード
(☞ 便利な機能⑩ 96 ページ)

壁紙選択モード
(☞ 便利な機能⑬ 98 ページ)

輝度設定モード
(☞ 便利な機能⑭ 98 ページ)

ハンズフリー設定モード
(☞ 便利な機能⑮ 99 ページ)

電話待ち受け設定モード 1
(☞ 便利な機能⑯ 99 ページ)

カレンダー・時計設定モードに戻る

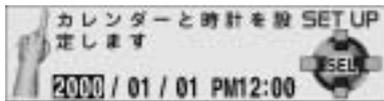
メモ

初期設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。(解除すると、電源がOFFになります。)
1 ハンズフリー設定モードをONにしていないうちは、電話待ち受け設定モードには切り換わりません。

日付や時計を合わせることができます。

1 カレンダー・時計設定モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (E5 便利な機能④)



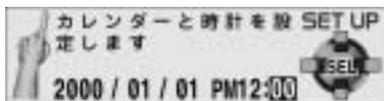
メモ

時計を表示した状態で電源をOFFにしてから、DISPLAYボタンを押してデモモードをOFFにすると、ディスプレイに時計を表示することができます。ENTボタンを2秒以上押すごとに時計表示がON/OFFします。年は2000年から2099年までの範囲で設定できます。

2 カレンダー・時計の設定をする

設定する項目を選ぶ

◀または▶ボタンを押す



押すごとに年、月、日、時、分が切り換わります。

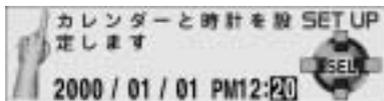
数値を設定する

▲または▼ボタンを押す

▲：数字が増加します

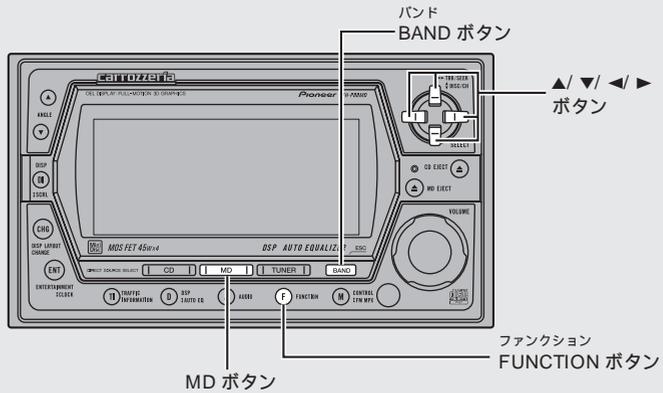
▼：数字が減少します

(押し続けると連続して数値を送ることができます。)



分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。



便利な機能
6

RCA 外部出力から出力される信号を選ぶ

本機のリア出力またはサブウーファー出力に外部アンプを接続した場合、外部アンプに接続するスピーカーに合わせてこの設定を切り換えます。

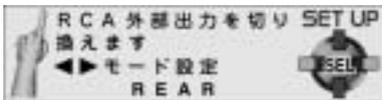
1 RCA 外部出力モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (※ 便利な機能④ 92ページ)



2 接続するスピーカーに合わせて選択する

- ◀または▶ ボタンを押す
- ▶ : (SUB-WOOFER) サブウーファーを接続するとき
- ◀ : (REAR) リアスピーカーを接続するとき



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

便利な機能
7

夜間のディスプレイの明るさを切り換える

デイマー

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとデイマーが働き、ディスプレイが暗くなるように設定できます。

1 デイマーモードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (※ 便利な機能④ 92ページ)



2 デイマーの設定をONにする

- ▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

リアスピーカーに設定したときは、サブウーファーの調節 (※ DSP調節⑨ 82ページ) はできません。

外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

1 AUX (外部機器) モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ 便利な機能 92ページ)



2 AUX (外部機器) の設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースをAUXにする

MDボタンを押して選ぶ

(☞ ここだけで 16ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

1 ソースをAUXにする

MDボタンを押して選ぶ

(☞ ここだけで 16ページ)



2 外部機器の名称入力モードにする

FUNCTIONボタンを2秒以上押す



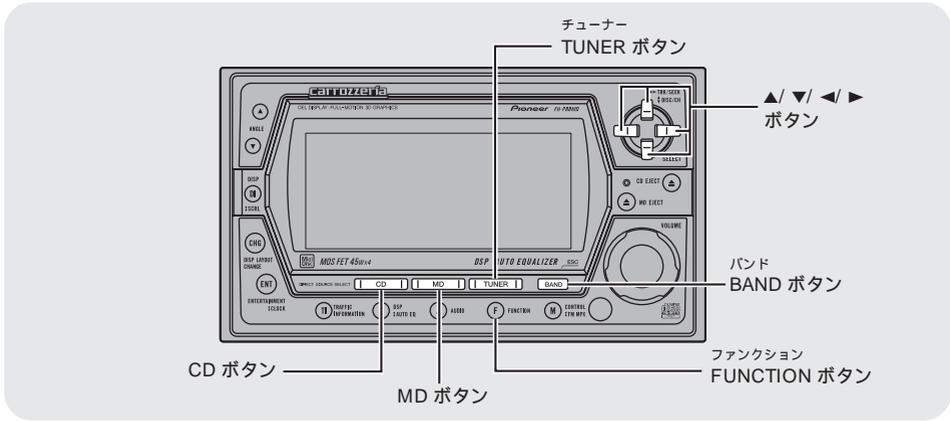
3 外部機器の名称を入力し、記憶させる

CDタイトル入力の手順3～5を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。(☞ マルチCD 60ページ)

例) “DAT” を入力した場合



“AUX” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。



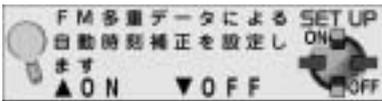
便利な機能 10 自動的に時刻を補正する

自動時刻補正

FM 多重を受信している場合、FM 多重局からの時刻情報により自動的に時計の時刻を補正します。この自動時刻補正の機能は、OFF にすることができます。

1 自動時刻補正設定モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (※ 便利な機能④ 92ページ)



2 自動時刻補正の設定をOFFにする

▼ボタンを押す (▲ボタンでON)



BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

受信しているFM多重局によっては、時刻補正ができないことがあります。

受信電波が弱い場合は、補正されるまでに時間がかかったり、間違った時刻に設定することがあります。

便利な機能 11 FM 多重用オートアンテナを設定する

本機の電源がONのときに、オートアンテナをのぼしておくことにより、FM 多重をすぐに見ることができます。

FM 多重用オートアンテナの設定について

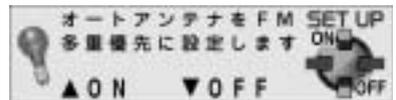
設定がOFFの場合、ラジオを聞いているときとFM多重を見ているときだけ、オートアンテナがのびます。

設定をONにすると、本機の電源をONにしたときは、オートアンテナがのびようになります。

この場合、FM多重を常に受信しているので、FM多重を見ようと思ったときにすぐに見ることができます。

1 FM 多重用オートアンテナモードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (※ 便利な機能④ 92ページ)



イコライザーカーブの調整 (E DSP調節⑤ 77ページ) による音の歪みをなくすることができます。

デジタルアッテネーターについて

イコライザーカーブの調整 (E DSP調節⑤ 77ページ) でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの調整で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定をLOWに切り換えてください。

1 デジタルアッテネーター設定モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (E 便利な機能④ 92ページ)



2 設定を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

▶ : HIGH を選ぶとき

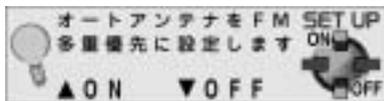
◀ : LOW を選ぶとき



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

2 FM多重用オートアンテナの設定をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



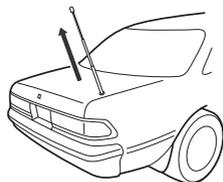
BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

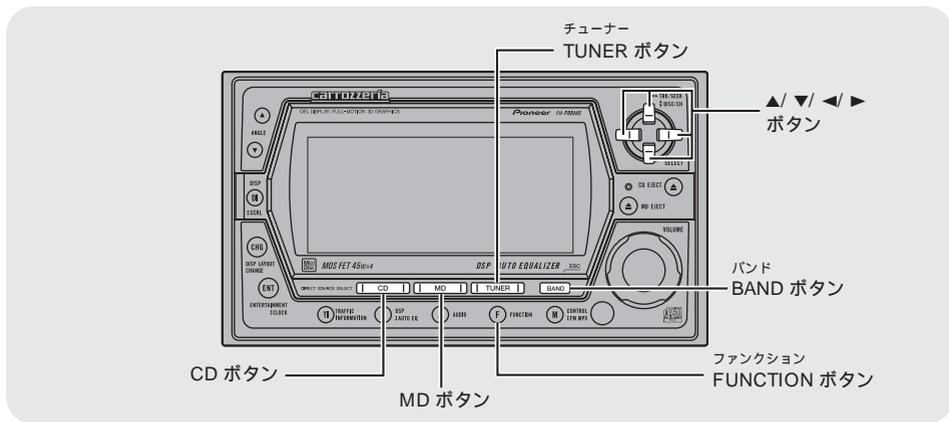
3 電源をONにする

CDボタン、MDボタンまたはTUNERボタンを押す

(E ここだけで① 16ページ)

オートアンテナがのびようになります。





13 背景のパターンを選ぶ

壁紙選択

ディスプレイに表示される文字などの背景のパターンを選ぶことができます。

1 壁紙選択モードにする

電源がOFFのときにFUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ (☞ 便利な機能 92 ページ)



2 壁紙を選ぶ

◀または▶ ボタンを押す

お好みの壁紙を選びます。



選んだ壁紙が枠で囲われます。

BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

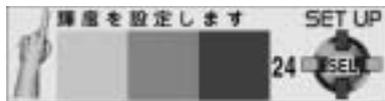
14 ディスプレイの明るさを調節する

輝度設定

ディスプレイの明るさを調節することができます。

1 輝度設定モードにする

電源がOFFのときにFUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ (☞ 便利な機能 92 ページ)



2 明るさを調節する

◀または▶ ボタンを押す

▶ : 明るくしたいとき

◀ : 暗くしたいとき



0 ~ 31 の範囲で調節できます。

BAND ボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

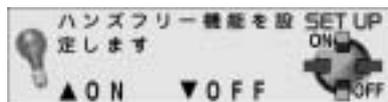
携帯電話のハンズフリー機能について

ハンズフリー

別売のパイオニア製ハンズフリーシステムキット「CD-HF1」を本機と組み合わせると、携帯電話の着信に合わせ、聞いているソースの音声にミュートがかかります。電話に出るとハンズフリーで通話することができます。相手先の音声は、スピーカーから出力することができます。

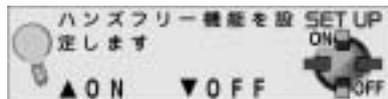
1 ハンズフリー設定モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ 便利な機能① 92ページ)



2 ハンズフリーの設定をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

メモ

ハンズフリーについて詳しくは (☞ ハンズフリーキットおよび携帯電話の取扱説明書) ハンズフリー設定モードをONにすると、ミュート機能 (☞ はじめに④ 15ページ) は使用できません。

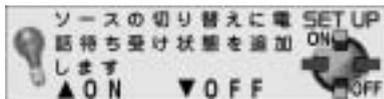
電話待ち受けについて

電話待ち受け

ラジオやMDなどを聞いていないときでも、電話の待ち受けを可能にします。

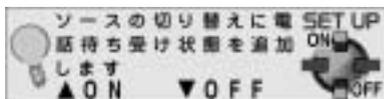
1 電話待ち受け設定モードにする

電源がOFFのときにFUNCTIONボタンを2秒以上押してから、FUNCTIONボタンを押して選ぶ (☞ 便利な機能① 92ページ)



2 電話待ち受けの設定をONにする

▲ボタンを押す (▼ボタンでOFF)



BANDボタンを押して、初期設定モードを解除してください。

3 ソースを電話待ち受けにする

CDボタン、MDボタンまたはTUNERボタンを押して選ぶ

(☞ ここだけで① 16ページ)



電話の待ち受けをすることができます。

メモ

ハンズフリー設定モードをONにすると、電話待ち受け設定モードに切り換わるようになります。

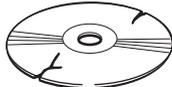
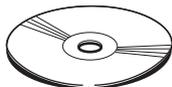
CDの正しい使いかた

使用できるCDについて

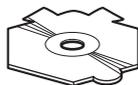
下記マークの付いているコンパクトディスク(光学式デジタルオーディオディスク)をご使用ください。



ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。



特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-Rディスクは、正常に再生できない場合があります。

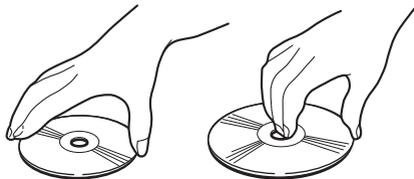
音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-Rディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

CD-Rディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。

CD-Rディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面(虹色に光っている面)をさわらないように持ってください。



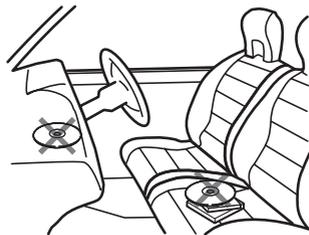
CDにキズを付けないでください。

CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が付いて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

MDの正しい使いかた

使用できるMDについて

下記マークの付いているMD(ミニディスク)をご使用ください。



音楽用以外のMDは使用しないでください。故障の原因になります。

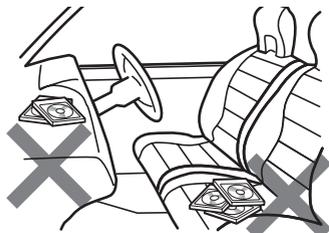
取り扱い上のご注意

MDのシャッターを手であけないでください。無理にあげるとこわれることがあります。



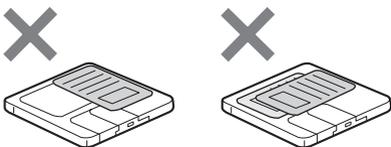
保管上のご注意

MDは、直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。

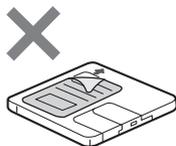


ラベルについて

MDに付属のラベルは、必ず指定の位置に貼ってください。指定以外の位置に貼ったり、2枚重ねて貼ったりすると、MDが取り出せなくなることがあります。



ラベルがめくれたり、浮いたりしたMDは使用しないでください。ラベルが引っかかり、MDが取り出せなくなります。このようなMDは新しいラベルに貼り換えてからお使いください。



お手入れについて

MDのカートリッジ表面が汚れたときは、柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。

MDにベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



寒いときの結露について

寒いとき、ヒーターを入れた直後にMDの再生を始めると、本機内部の光学系レンズやMDに露が付いて、正常な再生ができなくなることがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。MDのカートリッジ表面に付いた露は柔らかい布で拭いてください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と

思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても

直らないときは
本機をリセットしてくだ
さい。(☞ はじめに⑩ 15
ページ)

それでも

直らないときは
保証書とアフターサービ
ス(☞ その他⑥ 103ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズを同じ容量のものと同交換してく ださい。(☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (☞ ここだけで②③④⑥ 19、21、23、27ページ)
	アッテネーターがONに なっている。	アッテネーターを解除してください。 (☞ 音の調節① 68ページ)
	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節⑤ 69ページ)
前または後ろのスピーカー から音が出ない。	前後の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節⑤ 69ページ)
左または右のスピーカーか ら音が出ない。	左右の音量バランスの調節 が適切でない。	正しく調節してください。 (☞ 音の調節⑤ 69ページ)
ディスプレイが反転表示 する。	デモモードがONになって いる。	デモモードを解除してください。 (☞ はじめに⑧ 15ページ)

CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出る。 CDの再生が途中で止まる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他① 101ページ)
	CDに曇りや水滴が付いている。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他① 101ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。(☞ ここだけで② 18ページ)

MD

症 状	原 因	処 置
MD再生中、大きな雑音が出る。 MDの再生が途中で止まる。 MDが自動的に出てくる。	MDが極端に汚れている。	MDを交換してください。
	MDに曇りや水滴がついている。	
	MDが正しい方向に挿入されていない。	MDを取り出し、正しい方向に挿入してください。(☞ ここだけで③ 20ページ)

ラジオ

症 状	原 因	処 置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (☞ ここだけで④ 23ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (☞ ここだけで④ 23ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (☞ ここだけで④ 23ページ)

こんなメッセージが表示されたら

CDのエラー表示

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「HEAT」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「Error-11」「Error-12」 「Error-17」「Error-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他① 101ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「Error-14」	追記型CD (CD-R) を録音しないまま使用しているとき。	追記型CD (CD-R) は、録音してからお使いください。
「Error-10」「Error-11」 「Error-12」「Error-14」 「Error-17」「Error-30」 「Error-50」「Error-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。

メモ

マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの取扱説明書をご覧ください。

オートイコライジング機能のエラー表示

オートイコライジング機能によって、車室内の音響特性を正常に測定できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。内容を確認して、もう一度操作をやりなおしてください。

メッセージ	メッセージが表示されるとき	処 置
「マイクを確認して下さい」	マイクが接続されていない。	付属のマイクをきちんと差し込んでください。(☞ DSP調節⑫ 88ページ)
「スピーカーを確認して下さい」	スピーカーの計測音がマイクでひろえない。	ソースを切り換えて、スピーカーから音が出るか確認してください。音が出ない場合は、スピーカーリード線の接続を確認してください。
		付属のマイクを正しくセットしてください。
「測定エラーです」	周囲の騒音レベルが高すぎる。	なるべく静かな所に車を停車させ、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。
		付属のマイクを正しくセットしてください。

MDのエラー表示

MDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「TEMP」	本機の内部温度に異常があるとき。	本機が正常に動作する温度になるまでお待ちください。
「Error-11」「Error-12」 「Error-17」「Error-30」	MDが汚れているとき。 MDにキズやひびがあるとき。	他のMDと交換してください。
「Error-20」 「Error-21」	振動などが原因で曲の情報を 読み取れなかったとき。 MDに異常(損傷している、 TOCが入っていないなど)が あるとき。	MDを取り出し、もう一度入れ直して ください。それでも同じメッセー ジが表示される場合は、他のMDと 交換してください。
「Error-22」 「Error-24」	MDに異常(損傷している、 TOCが入っていないなど)が あるとき。	他のMDと交換してください。
「Error-23」	音楽以外の情報が記録された MDを使用したとき。	音楽が録音されたMDを使用してくだ さい。
「Error-01」「Error-11」 「Error-12」「Error-17」 「Error-30」「Error-A0」	本機の電気系、機構系の故障 が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFに してからONにするか、MD再生を一 度やめて、もう一度MD再生にして ください。
「Error-A1」 「Error-A4」	本機の電気系、機構系の故障 が考えられるとき。	MD再生を一度やめて、リセットボタ ンを押して (E3 はじめに⑩ 15ページ) もう一度MD再生にしてください。
「ERROR」	MDが何らかの原因で再生し ないとき。	他のMDと交換してください。 リセットボタンを押してください。 (E3 はじめに⑩ 15ページ)
「Blank MD」	何も録音されていないMDを 挿入したとき。	他のMDと交換してください。

メモ

マルチMD再生中に、上記以外のエラーメッセ
ージが表示されたときは、マルチMDの取扱説明書
をご覧ください。

アンプ・オーディオ部

最大出力 : 45 W × 4
 定格出力 : 22 W × 4
 (50 ~ 15,000 Hz、5 % dist)
 負荷
 インピーダンス : 4
 (4 ~ 8 使用可能)
 最大出力レベル : 2.2 V
 出力
 インピーダンス : 1 k
 ラウドネス
 コントラ : 10 dB (100 Hz)、
 7 dB (10 kHz)
 (ボリューム : - 30 dB)

イコライザー

(13バンド

グラフィック

イコライザー) : 周波数 : 50 Hz、80 Hz、
 125 Hz、200 Hz、
 315 Hz、500 Hz、
 800 Hz、1.25 kHz、
 2 kHz、3.15 kHz、
 5 kHz、8 kHz、
 12.5 kHz
 調整幅 : ± 12 dB (2 dB)

(2バンド

パラメトリック) : 周波数 : (REAR) :

100 Hz ~ 8 kHz
 (1/3 oct.)

Qファクター : 1.2、2.6

調整幅 : - 12 ~ + 6 dB (2 dB)

ネットワーク

ハイパス

フィルター

(フロント/リア

独立) : 周波数 : 50 Hz/80 Hz、
 125 Hz/200 Hz
 スロープ : - 12 dB/oct.

サブウーファー

出力 : 周波数 : 50 Hz/63 Hz/
 80 Hz/100Hz/
 125Hz/160Hz/
 200Hz

スロープ : - 18 dB/oct.

調整幅 : - 24 ~ + 6dB

MUTE (1db)

位相 : NORMAL/REVERSE

CD プレーヤー部

形式 : コンパクトディスク
 オーディオシステム
 使用ディスク : コンパクトディスク
 信号
 フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
 量子化ビット数 : 16ビット直線
 周波数特性 : 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
 S/N : 96 dB (1 kHz)
 (IHF-A ネットワーク)
 ダイナミック
 レンジ : 94 dB (1 kHz)
 チャンネル数 : 2 (ステレオ)

MD プレーヤー部

形式 : ミニディスクデジタル
 オーディオシステム
 使用ディスク : ミニディスク
 信号
 フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz
 量子化ビット数 : 16ビット直線
 周波数特性 : 20 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
 S/N : 90 dB (1 kHz)
 (IHF-A ネットワーク)
 ダイナミック
 レンジ : 90 dB (1 kHz)
 チャンネル数 : 2 (ステレオ)

FM チューナー部

受信周波数帯域 : 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度 : 9 dBf (0.8 μ V/75 、
モノラル、S/N : 30 dB)
S/N 50 dB
感度 : 14 dBf
(1.4 μ V/75 、モノラル)
S/N : 70 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率 : 0.3 %
(65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)
周波数特性 : 30 ~ 15,000 Hz (\pm 3 dB)
ステレオ
セパレーション : 40 dB (65 dBf入力、1 kHz)

AM チューナー部

受信周波数帯域 : 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)
実用感度 : 18 μ V (S/N : 20 dB)
実効選択度 : 50 dB (\pm 9 kHz)

共通部

使用電源 : DC 14.4 V
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式 : マイナスアース方式
最大消費電流 : 10.0 A
外形寸法
(取付寸法) : 178 (W) \times 100 (H) \times
160 (D) mm
(ノーズ寸法) : 170 (W) \times 95 (H) \times
13.5 (D) mm
質量 : 2.9 kg (コードユニット含まず)

付属品

リモコン : 1
単4形
乾電池 (R03) : 2
マイク : 1
コードユニット : 1
取付ネジ類 : 1式
取扱説明書 : 1
取付説明書 : 1
安全上のご注意 : 1
保証書 : 1
ご相談窓口・
修理窓口のご案内 : 1

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

 0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2000

< 00D00F0100 > < CRA2977-A >